

はじめに

続く!続く!歩こう会!

馬場愛美子

オギャーと産声をあげてから未病に向ってひたすら一生懸命!!。未病を未病で終わらせる為にひたすら何かに挑戦し続けている昨今。解っているけど……。なかなか……。運動は……。と、いった中で一番手っ取り早い運動は歩く事と思い歩き続けて今に至ります。

コロナ騒ぎのなか体調をくずした時に医者に言われたことが有ります。猫も犬も動物。人間も動物。(動く物)と書くでしょう!動かないと何でも駄目になるんですよ!! 目も耳も鼻もしかり。洞窟の暗闇にいる魚も必要の無い目がないのと同じです。と。なるほど……。と納得したものです。

過去 120 箇所以上のコースを歩いて来た皆さんの為に小冊子として残す事を若命さんが発案して下さり青野さんにも多大な迷惑を掛けながら作り上げられました。同じコース、同じ所を巡っても季節、時間が違えば肌にふれる風の違い、におい、鳥のさえずり、葉ずれの音が五感に響くはずです。ここで五感も鍛えられるでしょう! 皆さんの生涯現役を願いつつ。次にジャンプ!!

「歩こう会の記録」発刊に寄せて 飯田朝明

「歩こう会」のことを書こうとすると、何よりも先に3代目会長の井森さんを思い出します。私が湘現会に入会したのは平成24年6月でしたが、その際、会資料の送付のほか色々とお気配りをして頂きました。残念なことに、井森さんは去る4月に高齢のためご逝去されましたが、ご冥福をお祈り申し上げます。

当時の歩こう会は井森さんが幹事役をされていましたが、入会后しばらくしてから、私が大磯に住んでいることをご存知のため、今度は大磯へ行きたいので、行動計画をちょっとアレンジしてくれないかと頼まれました。

そんなこともあって、大磯散策が平成25年5月と30年5月の2回と27年1月の平塚七福神巡りについては、最初から行く先やコースの検討などについて参画させて頂きました。大磯については、1回目は雨天により延期したものの、延ばした日がまた雨になってしまい、やむなく中止するに至ったこともあります。

私は、大磯から東京や横浜に行くには湘南電車が直行していることもあり、大船が分岐点の横須賀線方面には現役時代あまり行ったことがありませんでした。そのため、葉山とか観音崎、佐島や城ヶ島などの企画には、喜んで参加しました。その結果、鎌倉から先の三浦半島については、より多くの知見を得ることができました。これも「歩こう会」のお陰です。

井森さんが第一線を退いてからは、馬場さんの豊富なタウンウォッチングのご経験を活かしながら、青野さんが企画と広報や参加者の取りまとめから結果報告などに至るまで、入念に実行されているように見受けられます。近年は、7、8月の暑い季節は除いて、月に一度第4木曜日と日を決めて催行していますが、毎回15人から20人位の参加者がおり、他のことを後回しにしても、この日は参加するようにしているという会員も多いと伺っています。毎回、よくそんなに行く場所があるなあと思うくらい、近在のあちこちに行く先として選択していることがうかがわれます。私は勿論ですが、参加される他の会員の皆さんも、歩くことによって身体を使って健康を保ち、お仲間と語り、それに加えて見聞を広めているのではないかと思います。

「歩こう会の記録」発刊に当たり、これからの益々の「歩こう会」の発展を祈念しながら、この一文をしたためました。

「歩こう会」の歩み

桑原啓二

湘現会創設の当初から都築源二さんによって組織されました。丹沢の大山から始まって金時山や芦ノ湖畔などにも行きました。そこで「鍋を囲み」都築さんご自慢の男料理が振舞われるというそれはそれは愉快的な「歩ルキング鍋の会」でした。田浦梅林などは東逗子駅で集まり、鷹取山越しに田浦梅林まで歩いて行って田浦梅林の頂上にあった「少年の森」で炊事を楽しんだものです。

工藤晃さんの指揮のもと大きな声で合唱したのも懐かしい思い出です。終わるときにはいつも灘上さんの軍歌「ありがとう、ありがとう」で感謝をし労をねぎらったものです。

参加人員が次第にふえるにつれ食材などの運搬が難しくなったというのが「歩く会」と「鍋の会」を分けた主な原因ですが、やはり料理好きの男料理の達人たちが居なくなってしまったということが本当のところでしょう。「鍋の会」の復活は男料理の達人たちの復活を待つほかありません。出でよ！ 男料理の達人！です。

一方「歩く会」は今も元気よく歩き回っています。これには馬場さんのご尽力が大きいと思います。基本的にコースの下見をしてから当日に備えるということは中々できるものではありません。感心させられます。また、畏敬の念を禁じざるを得ないのはあの「馬場さんの活力、まさに馬場力」です。日中歩き回ってきてもさらに夜は「もうひと働きする」とお仕事をされるのですから驚きです。生涯現役百歳時代の「期待される人間像」といえるでしょう。

歩こう会に参加して

信田武司

私が湘現会に入会したのが令和元年8月。歩こう会には、同年9月開催の「ズーラシア横浜動物園」から5年間で約30回参加しています。

ウォーキングしながら自然に触れ景色を眺めたり史跡を訪れることで、筋力を維持し知的好奇心も満たされ、心身共にリフレッシュできることが「歩こう会」の効用かと思いますが、私の一番の楽しみは「会話」です。会食など席が固定している時と異なり、移動しながら知らず知らずのうちに多数の方とお話ししています。さりげなく趣味や経験談、蘊蓄、人生観などをお聞きして幸せな気分になります。

加齢により体力・気力が減少して出不精になり、他人とのコミュニケーションが少なくなります。他人と会話すると脳が刺激され、ストレスの軽減につながり、認知症の予防にも効果があるといわれています。ひとりでもウォーキングはできますが会話はなく、他人とのコミュニケーションは電話やメール、LINEなどSNSでも可能ですが会って表情を見ながらお話しすることが一番だと思います。

主催者の方(現在は馬場さん、青野さん)には、身近でありながら新たな発見があるコースを毎回企画していただき感謝しかありません。会員の高齢化により高低差が少なく短距離のコースを選択せざるを得ない状況ですが、今後とも会員が集う機会として歩こう会の存続を願っています。

本記録の構成について

青野正宏

本記録集は湘現会の歩こう会主催(一部歩こう会主催でないが勧誘を受けたものも含む番外として記載)で開催したウォーキングについて記録したものです。一回の開催は原則1ページにまとめて記載してあります。

各催行記録の内容は、開催時の行事のタイトル(行き先)と催行期日、参加者数(男女別)、文章による催行報告、写真3葉(1枚は集合写真 2枚はその他の催行中のスナップ写真)の構成を原則としています。ただし、行き先がどこであったかの記録があるのは平成25年1月からですが、行き先のみであり、催行時の写真その他の記録を始めたのは平成29年1月からであるので、平成25年～28年については行き先のみでの記載となっています。また、記録を始めた直後は、記録や写真の方式も固まっていなかったため、不足している情報もあります。

歩こう会は平成29年3月までは隔月開催、平成29年5月からは毎月開催を原則としています。猛暑シーズン、天候不順、コロナ対策のため計画外としたり催行を中止したりした月もありますが、計画外・中止した理由も目次に記載しています

行き先については、移動しているので地図上に表すと線となりますが、ここではその回の代表的な場所について巻末の地区別地図に点(英字)で表しました。

本記録は湘現会ホームページの「歩こう会」のページにおける「最近の行き先」のページの各行き先の項をベースとしています。また本記録集の写真は縮小して各ページに収まるようにしてありますが、元のサイズの大きな写真、本記録集では割愛した写真についてはホームページを参照してください。各行き先を示した地図は本記録集独自のものです。

本記録集は令和6年6月までの記録としていますが、今後も歩こう会が続き、続編が発行できることを念じています。それまでは、湘現会ホームページの「最近の行き先」のページで記録を閲覧してください。

目次	頁
催行個別記録	
実施(計画))時期 行き先(催行タイトル)	場所
平成 25 年 1 月 鎌倉七福神巡り	鎌倉金沢 A
平成 25 年 3 月 葉山の里歩き	三浦北 A
平成 25 年 5 月 大磯散策(城山公園 照ヶ埼海岸等)	湘南 A
平成 25 年 7 月 計画外	
平成 25 年 9 月 浦賀から観音崎	三浦北 B
平成 25 年 11 月 金沢動物園とその周辺	鎌倉金沢 B
平成 26 年 1 月 逗子葉山七福神巡り	三浦北 C
平成 26 年 3 月 神武寺から鷹取山ハイキング	三浦北 D
平成 26 年 5 月 葉山を歩こう 一色界限	三浦北 E
平成 26 年 7 月 生田緑地古民家園など	東京川崎 A
平成 26 年 9 月 神武寺から鷹取山ハイキング(雨天中止)	
平成 26 年 11 月 佐島の丘を歩く	三浦北 F
平成 27 年 1 月 平塚七福神巡り	湘南 B
平成 27 年 3 月 葉山の里歩き	三浦北 A
平成 27 年 5 月 くりはま花の国散策とペリー公園	三浦北 G
平成 27 年 7 月 計画外	
平成 27 年 9 月 神奈川県立花菜ガーデン	湘南 C
平成 27 年 11 月 小網代の森・油壺散策(雨天中止)	
平成 28 年 1 月 横浜金沢七福神巡り	鎌倉金沢 C
平成 28 年 3 月 小網代の森・油壺散策	三浦南 A
平成 28 年 5 月 池子自然の森公園	三浦北 H
平成 28 年 7 月 計画外	
平成 28 年 9 月 葉山の里歩き(雨天中止)	
平成 28 年 11 月 逗子の旧別荘地を歩く(雪のため中止)	
平成 29 年 1 月 鎌倉七福神巡り	鎌倉金沢 A 1
平成 29 年 3 月 逗子の旧別荘地を歩く	三浦北 I 2
平成 29 年 5 月 長浜公園を経て八景島	鎌倉金沢 D 3
平成 29 年 6 月 岩殿寺から久木大池を経て池子の森 (雨のため 7 月実施)	三浦北 J 4
平成 29 年 7 月 計画外	
平成 29 年 8 月 計画外	
平成 29 年 9 月 大磯散策(雨のため 11 月に延期)	
平成 29 年 10 月 根岸森林公園・地藏王廟・増徳院他	横浜 A 5
平成 29 年 11 月 大磯散策(雨で中止)	
平成 29 年 12 月 鎌倉から披露山を越えて逗子海岸へ	三浦北 K 6
平成 30 年 1 月 江ノ島・龍口寺	湘南 D 7
平成 30 年 2 月 横浜みなとみらい地区	横浜 B 8
平成 30 年 3 月 柏尾川砂押川花見ウォーク	鎌倉金沢 E 9

平成 30 年 4 月	葉山の里歩き	三浦北 A	10
平成 30 年 5 月	大磯散策	湘南 A	11
平成 30 年 6 月	横須賀しょうぶ園	三浦北 L	12
平成 30 年 7 月	計画外		
平成 30 年 8 月	計画外		
平成 30 年 9 月	秦野戸川公園風の吊り橋(雨のため 11 月に延期)		
平成 30 年 10 月	城ヶ島	三浦南 B	13
平成 30 年 11 月	秦野戸川公園風の吊り橋	神奈川西 A	14
平成 30 年 12 月	神武寺と食事会	三浦北 D	15
平成 31 年 1 月	明治神宮と周辺	東京川崎 B	16
平成 31 年 2 月	ズーラシア(雨のため中止 代替：神奈川県立歴史博物館)	横浜 C	17
平成 31 年 3 月	柏尾川花見	鎌倉金沢 E	18
平成 31 年 4 月	秋谷周辺散策	三浦北 M	19
令和元年 5 月	くりはま花の国	三浦北 G	20
令和元年 6 月	横浜歴史散歩	横浜 D	21
令和元年 7 月	宮ヶ瀬ダム大放流見学(番外)	神奈川北 A	22
令和元年 8 月	暑気シーズン計画外		
令和元年 9 月	ズーラシア	横浜 E	23
令和元年 10 月	横須賀うみかぜの路	三浦北 N	24
令和元年 11 月	伊豆大島(番外)	伊豆大島 A	25
令和元年 11 月	平塚総合公園・平塚八幡宮	湘南 B	26
令和元年 12 月	弘明寺から保土ヶ谷	横浜 F	27
令和 2 年 1 月	川崎大師参拝	東京川崎 C	28
令和 2 年 2 月	旧東海道と英連邦戦没者墓地	横浜 G	29
令和 2 年 3 月	秦野戸川公園と水無川花見(コロナ対策のため中止)		
令和 2 年 4 月	コロナ対策のため中止		
令和 2 年 5 月	コロナ対策のため中止		
令和 2 年 6 月	舞岡公園	鎌倉金沢 F	30
令和 2 年 7 月	暑気シーズン計画外		
令和 2 年 8 月	暑気シーズン計画外		
令和 2 年 9 月	相模川河岸段丘(10 月 1 日に延期して実施)	神奈川北 B	31
令和 2 年 10 月	追浜付近散策	三浦北 O	32
令和 2 年 11 月	野島・称名寺散策	鎌倉金沢 G	33
令和 2 年 12 月	佐島・天神島散策	三浦北 F	34
令和 3 年 1 月	コロナ対策のため中止		
令和 3 年 2 月	逗子海岸散策	三浦北 P	35
令和 3 年 3 月	谷戸池フラワーセンター	鎌倉金沢 H	36
令和 3 年 4 月	逗子田越川他	三浦北 Q	37
令和 3 年 5 月	花菜ガーデン(雨天中止)		
令和 3 年 6 月	能見堂跡	鎌倉金沢 I	38

令和3年7月	暑気シーズン計画外		
令和3年8月	暑気シーズン計画外		
令和3年9月	池子の森自然公園	三浦北 H	39
令和3年10月	逗子海岸右回り	三浦北 R	40
令和3年11月	泉の森	横浜 H	41
令和3年12月	等々力溪谷	東京川崎 D	42
令和4年1月	森戸神社他葉山堀内界限	三浦北 S	43
令和4年2月	三浦海岸河津桜	三浦南 C	44
令和4年3月	秦野戸川公園と水無川花見	神奈川西 A	45
令和4年4月	湘南国際村	三浦北 T	46
令和4年5月	三笠公園猿島	三浦北 U	47
令和4年6月	小網代の森	三浦南 A	48
令和4年7月	暑気シーズン計画外		
令和4年8月	暑気シーズン計画外		
令和4年9月	大井ふ頭なぎさの森	東京川崎 E	49
令和4年10月	長浜公園・八景島	鎌倉金沢 D	50
令和4年11月	旭区鶴ヶ峰周辺(畠山重忠ゆかりの地)	横浜 I	51
令和4年12月	富岡周辺	鎌倉金沢 J	52
令和5年1月	三戸海岸周辺	三浦南 D	53
令和5年2月	曾我梅林	神奈川西 B	54
令和5年3月	野毛山界限	横浜 J	55
令和5年4月	観音崎	三浦北 B	56
令和5年5月	花菜ガーデン	湘南 C	57
令和5年6月	えびねやまゆり園	湘南 E	58
令和5年7月	暑気シーズン計画外		
令和5年8月	暑気シーズン計画外		
令和5年9月	三ツ池公園	横浜 K	59
令和5年10月	台峰・源氏山	鎌倉金沢 K	60
令和5年11月	本牧山山頂公園・三溪園	横浜 L	61
令和5年12月	レインボーブリッジ・お台場	東京川崎 F	62
令和6年1月	久良岐公園岡村天満宮	横浜 M	63
令和6年2月	富岡総合公園	鎌倉金沢 L	64
令和6年3月	大岡川(4月4日に延期して実施)	横浜 N	65
令和6年4月	浦賀	三浦北 V	66
令和6年5月	品川界限	東京川崎 G	67
令和6年6月	逗子サーファーズ	三浦北 R	68
行き先地図			69

行き先 鎌倉七福神巡り(鎌倉市) 催行日 平成 29 年 1 月 26 日 参加者 15 名

毎年 1 月の歩こう会は七福神巡りを行っていますが、今年は 4 年ぶりに鎌倉七福神巡りを行いました。快晴で寒波もおさまり、歩くには絶好の日和となりました。9 時 30 分に北鎌倉駅に集まり、布袋尊がある浄智寺、亀ヶ谷の切通を通過して、鶴岡八幡宮内にある旗上弁財天、宝戒寺にある毘沙門、妙隆寺にある寿老人、本覚寺にある夷堂に参拝しました。予定通り 5 か所を巡ったので、鎌倉駅前近くのビルの地下にある山下飯店で昼食となりました。午後は長谷観音の大黒堂に参拝し、最後にもう一息と御霊神社まで進み福祿寿を参拝して鎌倉七福神めぐりを完成させました。帰りに長谷交差点前の喫茶店ベルグフェルドで休憩し、新倉さんの養蜂によるミカン等のハチミツ収穫の話などで盛り上がりました。



浄智寺(布袋尊)



妙隆寺(寿老人)



長谷寺にて

行き先 逗子の旧別荘地を歩く(逗子市)

催行日 平成 29 年 3 月 23 日 **参加者** 19 名(男性 9 名女性 10 名)

東郷別荘跡をはじめとして、逗子の旧別荘地約 50 か所を巡りました。天候は晴れ、昼食は旧なぎさホテル跡の夢庵で、最後にとあるレストランのテラスでお茶、ビールなどを楽しみました。楽しい約 1 万 2 千歩のウォーキングでした。



東郷橋(神奈川県ホームページより)

行き先 長浜公園八景島(横浜市金沢区)

催行日 平成 29 年 5 月 25 日 参加者 15 名

朝、雨模様だったため幾人かのキャンセルがありましたが、本降りにはならず歩くには丁度良いウォーキング日和となりました。富岡駅 10 時に出発。埋立地に作られた広大な長浜公園をのんびりと野鳥や樹木の観察しながら 12 時半に八景島に到着。レストランエリアで食事をし、午後はバラまつり開催中のバラ園を楽しみました



八景島(令和 4 年 10 月催行時のもの)

行き先 岩殿寺・久子大池・池子森林公園(逗子市)

催行日 平成 29 年 7 月 9 日 参加者 16 名(男性 11 名女性 5 名)

今年度より、酷暑時期を除いて毎月開催をめざし、6 月 25 日開催(池子の森は土日のみ開放)で計画していたところ、あいにくの雨のため、7 月 9 日(日)に延期して開催しました。天候は良かったのですが既に酷暑の時期に入っていました。しかし、幸いなことに誰一人ダウンすることなく、約 12000 歩の行程(逗子駅から解散してた神武寺第一踏切前)を完歩しました。



岩殿寺へ



奥の院へ



久子大池



久子大池にて



池子森林公園で昼食 1



池子森林公園で昼食 2



池子森林公園にて

行き先 根岸森林公園・地藏廟王・増徳院他(横浜市中区南区)

催行日 平成 29 年 10 月 26 日 参加者 16 名(男性 9 名女性 7 名)

今年は 10 月に入っても雨が続いていましたが、この日は快晴に恵まれ、絶好のウォーキング日和となりました。10 時に根岸駅に集合し、白滝不動尊(約 20m の滝あり)、根岸森林公園(馬の博物館、広大な芝生、観覧席の跡)、地藏王廟(華僑の墓所)、増徳院(高野山準別格本山)を経て、横浜橋商店街(安売りで有名)で解散しました。



白瀧不動尊



馬の博物館



根岸森林公園の芝生を横断



競馬場後の廃墟



地藏王廟



納骨堂



増徳院にて

行き先 鎌倉から披露山を越えて逗子海岸へ(鎌倉市逗子市)

催行日 平成 29 年 12 月 21 日 参加者 13 名(男性 6 名 女性 7 名)

29 年最後の歩こう会は暖かい晴れた日となりました。鎌倉駅 10 時に出発。日頃歩かない裏道を通り光明寺へ。10:45 壮大な山門をくぐる。小休止の後、時々富士も顔出す素晴らしい景色を眺めながら和賀江島、逗子マリーナを経て小坪港 11:30 到着。

披露山へは喘ぎながら急坂、急階段を上る。12:00。披露山からは急な山道を下り逗子海岸通りへ。海は凪いで、さざ波がひかる。食事処はもうすぐ。予定通り 12:30 到着。1 万 3 千歩の楽しいウォーキングでした。



光明寺(鎌倉観光協会ホームページより)



披露山公園(逗子市ホームページより)

行き先 江の島龍口寺(藤沢市)

催行日 平成 30 年 1 月 25 日 **参加者** 14 名(男性 6 名女性 8 名)

今年は記録的に寒い冬であり、そのなかでも寒さのピークの日である 1 月 25 日に歩こう会を開催するので、開催前は少々心配でしたが、風もなく日差しもたっぷりあり快晴の天気で、快適な環境の下、江の島と龍口寺のハイクを行いました。

まず、江ノ電江の島駅前に集合し、富士山や丹沢の山々を眺めながら、江の島弁天橋を通過して、江の島に渡りました。江島神社や展望台に行くため足腰に自信がない人のため、エスカーを利用するコースを用意していたのですが、全員徒歩を選び、西側の坂道を通して山二つ付近に出ました。ここで名物の女房饅頭を食して小休憩した後、島頂上のサムエル・コッキング苑に入りました。真冬でも、それに適した品種なのかチューリップがきれいに咲いていました。展望台からは、空気が澄みきっていたため、丹沢、富士山、伊豆半島、大島がくっきり見えました。ここで遅れてきたメンバーと合流しました。

江島神社中津宮・辺津宮に詣でた後、片瀬に戻り、紀伊国屋で昼食を摂った後、龍口寺に詣で、五重塔を見学し、江ノ電江ノ島駅に戻ったところで、この日の日程を終えて解散しました。



江の島神社へ



園内のチューリップ



龍口寺にて

行き先 みなとみらい地区(横浜市中区)

催行日 平成 30 年 2 月 22 日 参加者 19 名

天気予報に反して午前中は雨となり寒い日となりましたが、今回は歩くというより、見学が主体だったので天候が悪くてもあまり支障はありませんでした。10時に桜木町南口に集合し、汽車道を歩いて JAICA 横浜センターにある海外移住資料館に行きました。ここでは、日本からハワイ、アメリカ本土、南米などへの移住に関するさまざまな資料が展示してあります。資料館に行くと、ボランティアの人が待機していて3グループに分かれ、6~7人を1班としてこちらの予定時間(1時間程度を希望)に合わせて、海外移住の歴史、どの県からの移住が多かったか(広島県が1位)、排日の状況、現地での生活その他をいろいろと説明してもらいました。

その後、すこし戻ってレストランオーシャンでバイキング形式の昼食を摂った後は、雨も上がり、今度は海上保安庁の海上保安資料館横浜館に行きました。2001年に覚せい剤を密輸しようとしていた北朝鮮と思われる不審船と海上保安庁の巡視船と交戦し、不審船が自爆して沈没するという事件がありました。この沈没した不審船を引き揚げ、不審船本体や関連する機関砲や船内収容の小型船などが展示されており、銃撃戦による貫通の痕など生々しいものがありました。その後、マリン&ウォーク、横浜赤レンガ倉庫などを散策して3時前に桜木町駅に戻り、解散しました



桜木町駅にて



雨の MM21 を歩く



赤レンガ倉庫にて

行き先 柏尾川砂押川花見(横浜市戸塚区栄区鎌倉市)

催行日 平成 30 年 3 月 29 日 **参加者** 19 名

花見の計画は、満開の時期と天候に左右され、計画はなかなか難しいですが、この日は、天候は3月としては汗ばむぐらいの陽気で、桜は満開で花びらがちらちらと舞い始めるぐらいの絶好の花見日和となりました。10時に戸塚駅から出発し、延々と桜並木が続いている柏尾川右岸を大船方面に向かって歩きました。

途中、金井公園で休憩をとったあと、笠間大橋付近まで桜が続き、さらにその先の鷹匠橋で左岸に移り、大船駅から戸塚寄りにある陸橋を渡って大船駅西口側に出て、西友ストア近く中華料理屋で昼食を摂ったのは、かなりゆっくりと歩いたためか、12時半を過ぎていました。

ここで一旦解散し、残った8名のメンバで砂押川岸辺の桜並木を経て、鎌倉女子大とイトーヨーカドー・鎌倉芸術館の間の遊歩道の桜を見て、大船中央病院前に抜け大船駅に戻って解散しました。



柏尾川花見



砂押川花見



金井公園にて

行き先 葉山の里歩き(葉山町)

催行日 平成 30 年 4 月 26 日 参加者 14 名(男性 8 名女性 6 名)

4 月の末でしたが、今年は季節の訪れが早く初夏の陽気で天候も快晴のなかで、新緑の葉山の郊外を歩きました。逗子駅に集合後、バスで葉山と衣笠を結ぶ県道 27 号線の途中にある滝の坂というところまでバスで移動し、そこからウォーキングを開始しました。まず、バス停近くの新善光寺から三島神社を見て、三浦半島を縦貫している中央道路のトンネルの上を通り、県道 27 号線の北側の里をあちこちら散策した足、県道沿いにあるレストラン角車というところで昼食をとりました。このレストランは葉山牛を飼育している牧場の直営で、葉山牛のステーキ、焼肉、ハンバーグなどが美味な店です。

ここで昼食を摂った後、今度は県道 27 号線の南側の里を散策し、朝降りたバス停のひとつ先になる水源地というバス停でウォーキングを終え、逗子に戻って解散しました。比較的狭い範囲をあちこちらと移動したのですが、歩数としては約 1 万歩程度でした。絶好の季節・天候に恵まれ、のんびりと散策した気持ちの良い 1 日でした。



春の野を行く 1



春の野を行く 2



帰路のバス停にて

行き先 大磯散策(大磯町) 催行日 平成 30 年 5 月 24 日 参加者 13 名

大磯散策は、昨年 2 回続けて雨で中止となり、3 度目の今回も当初は雨の予報でした。そのため、今回は小雨でも決行する決意でした。しかし、幸いにも天候が回復し、青空の下、大磯在住の会員飯田氏の案内で、大磯を散策することができました。大磯駅に 10 時集合後、まず駅の裏側の道を通って妙大寺を訪ねました。ここには、司馬遼太郎の小説「胡蝶の夢」の主人公でもあり、日本で初めて海水浴場を拓き、大磯発展の礎を築いた松本順(良順)の墓があるところです。

この後、島崎藤村が最晩年を過ごした簡素な造りの旧宅を訪ね、東海道松並木の道、三井の大番頭、池田成彬の別荘横を通り、海岸傍の大磯こゆるぎ緑地(砂地に松の植林の間の小径)を歩きました。この小径が尽きたところで海を眺めて小休憩しました。その後、バス組と徒歩組に分かれました。徒歩組は別荘跡地の住宅地などの間を縫って歩き、旧吉田茂邸でバス組と合流しました。

ここで昼となり、日差しも強かったので無料休憩所で弁当の昼食を摂った後、旧吉田茂邸を見学しました。再建された建物のため新築同様の建物でしたが、当時の間取りを再現し湘南の迎賓館代わりにも使われている由。庭園を散策した後、ここで第一次の解散とし、帰宅するメンバーと別れました。

残るメンバーは旧吉田茂邸の北側にある城山公園を散策し、このなかにある茶屋で抹茶等を喫しました。その後大磯駅に戻り解散しました。



島崎藤村旧居



吉田茂邸食堂



吉田茂邸入り口にて

行き先 横須賀しょうぶ園(横須賀市)

催行日 平成 30 年 6 月 28 日 参加者 12 名

今年は季節の移ろいも早く、6 月末はもう真夏の気候でしたが、この日は幸い、午前中は曇天でそれほど暑いということもなく、しょうぶ園を散策することができました。10 時に JR 衣笠駅に集合し、バスでしょうぶ園まで移動し、入園して広い園内を散策しました。予想はしていましたが、6 月の末であり前述したとおり季節の進行も早いこともあって、菖蒲はほとんど終わりにかけていました。しかし、あじさいはまだまだ咲いていましたし、園の入口の蓮池も良いシーズンに入ってきたという感じでした。また、早乙女姿の女性が、しょうぶの花摘みをしているところを見ることができました。浅学にして知りませんでした、菖蒲はこういう風に手入れするものかということを知りました。参加者のうち 4 名は都合で、途中で早めに引き上げていきました。管理棟のレストランは、シーズンが終わったためか閉鎖されていましたが、海軍カレーや焼きそばなどなら用意できるとのことで、管理棟 2F のホールで食事した後、引き揚げました。

今回は、夏場ということを考慮し、それほど歩き回るといより、散策という程度にとどめた会でした



園入り口の蓮池



園内を行く



花摘み



あじさい



花しょうぶ



ヘメロカリスの花



食事中



行き先 城ヶ島(三浦市)

催行日 平成 30 年 10 月 25 日 参加者 12 名(男性 5 名 女性 7 名)

10 時 15 分に京急三崎口駅に集合し、バスで城ヶ島終点ひとつ手前まで移動し、まず海の資料館を訪れました。海の資料館は、元三崎小学校城ヶ島分校の跡を資料館としているもので週 2 回しか開館していないのですが、たまたま開館日にあたり見学することができました。漁師の船や道具などとともに、昭和 45 年まで 1~4 年生が通っていたという分校の教室の様子が再現されていました。

海の資料館の後、島の西端にある城ヶ島灯台まで行き、そこから京急城ヶ島ホテル隣のレストランで昼食をとり、城ヶ島南側の尾根道のハイキングコースを時折見える海と海岸の岸壁を眺めながら、島の東端の城ヶ島公園の前まで散策しました。

そこから、城ヶ島大橋の真下の北原白秋の城ヶ島の雨の碑と記念館を訪れました。記念館ではたまたま、城ヶ島の雨の碑の基の書が展示されており、ビデオや展示物を見て城ヶ島白秋記念館前からバスで帰路についたのは、3 時過ぎでした。天候は快晴で暑くも寒くもない絶好の日和で、利休鼠の空の色を眺めるはめには陥りませんでした



テクノパーク櫂の森の道



北原白秋の碑



城ヶ島ホテル付近の海岸にて

行き先 戸川公園風の吊り橋(秦野市)

催行日 平成 30 年 11 月 22 日 参加者 13 名(男性 7 名 女性 6 名)

今回の歩こう会には、大磯に加えて秦野も地元である飯田さんの参加を得ていろいろと解説していただきました。10 時に小田急渋沢駅に集合し、渋沢駅北口から正面の道をまっすぐ水無川にぶつかるまで約 20 分進みました。途中からテクノパークのなかを通りますが、各工場の周囲には計画的に植林されており、紅葉した櫟の森の中を進む感じでした。水無川の手前に桜土手古墳公園があり、ここに古墳が 6 基保存されています。加えて一番大きな古墳は別の場所から移設復元されたもので石に覆われ玄室も復元されています。また、園内には展示館もあります。ここで 11 時ごろまで見学・休憩し、それから水無川の川辺の遊歩道を戸川公園まで約 1 時間かけて歩きました。水無川は文字どおり水が流れたり消えたりして伏流水が豊かなところであるということがわかりました。桜並木がずっと続いており、春来ても良いところだと感じられます。

戸川公園について、パークセンター2 階の無料休憩所で弁当を食した後、風の吊り橋を通過して対岸に渡りました。約 300m 近くある橋で吊り橋といっても揺れるような橋ではありませんでした。対岸に渡りやや川の方に下ったところに茶屋があり、ここで甘酒、コーヒー、抹茶などそれぞれ啖し、庭の紅葉を眺めた後、吊り橋を元に戻り、バスで渋沢駅に戻って解散しました。



テクノパーク櫟の森の道



戸川公園のザル菊



茶室「おおすみ山居」庭園にて

行き先 神武寺と食事会(逗子市)

催行日 平成 30 年 12 月 20 日 参加者 15 名(男性 7 名 女性 8 名)

12 月の歩こう会は年末ということもあり、歩く距離そのものは短く済ませ昼食会を行うということで実施されました。天気予報では曇りでしたが、実際は快晴で小春日和の暖かな日差しのなかでのハイクでした。

10 時に東逗子駅に集合し、そこから約 25 分かけ、神武寺まで表参道を通って参拝しました。まだ、紅葉が残っている状態で鐘楼と薬師堂を見て、本堂客殿を見下ろし(本堂客殿は檀家でないと近寄れない。)、墓地に回ると一番奥のすこし上ったところにクレージーキャッツの安田伸・体操の竹腰美代子夫妻の墓がありました。神武寺参拝後は、登ってきた道をそのまま下り、東逗子駅前に戻りました。ここで、JR で逗子駅まで戻る組と田越川川沿いの道を逗子中心部まで歩いて戻る組に分かれました。「舞」近くの食堂「海浜軒」で合流、ここにさらに女性 2 名が加わって合計 17 名で昼食後、約 10 名が「舞」で茶話会に参加(ここでさらに 1 名参加)、お開きとなったのは 3 時 40 分頃でした。



神武寺への道を上る



網羅半島八景神武寺の鐘楼



薬師堂前にて

行き先 明治神宮竹下通り(東京都渋谷区)

催行日 平成 31 年 1 月 24 日 参加者 13 名(男性 6 名 女性 7 名)

J R原宿駅 表参道口に集合した 13 名は 10 時 30 分に出発。駅前の信号を渡り表参道の一の鳥居をくぐり広い玉砂利をゆっくり歩いて行きます。参道の両側の木々は樹齢百年を超える大木です。鬱蒼とし繁った常盤の森を歩くと身が引き締まり心が洗われる思いがしました。明治神宮がパワースポットと言われる所以でしょうか。本殿までは約 30 分。本殿にお参りしたり写真を撮ったりした後、同じ参道を引き返し途中の「杜のレストラン」で昼食。食事後「清正の井」のある庭園を散策。その後、世界中から人が集まるカワイイ文化の発信地竹下通りを歩きました。ウィークデイにも関わらず多くの若者が集っていました。喧噪の竹下通りを横に入れば、緑あふれる空間にゆったり佇む東郷神社。参拝の後、隣接の東郷会館のレストランでお茶を楽しみました。

原宿駅までは数分。解散は原宿駅竹下口 3 時でした。この時期としては比較的暖かく、好天に恵まれ楽しいウォーキングの一日でした。



明治神宮にて



東郷会館にて

行き先 横浜県立歴史博物館(横浜市中区)

催行日 平成 31 年 2 月 28 日 **参加者** 11 名(男性 5 名 女性 6 名)

2 月の歩こう会ズーラシア動物園に行く予定でしたが、あいにく終日の雨で、温度も真冬並みという予報となりました。これでは動物園に行っても仕方がないという判断となりましたが、折角この日を歩こう会にと予定を組んでいた人が多くいたので、急遽天候に左右されない横浜馬車道にある神奈川県立歴史博物館見学に行先を切り替えて実施しました。

10 時 30 分に関内駅に集合、横浜正金銀行本店であった重厚な作りの博物館に入りました。所要時間を係の人に聞くと 1 時間程度で十分ということだったので、12 時集合ということにし館内の展示品を見て回りました。特別展示はやっていない時期であり、常設展示だけで特に貴重な展示品があったという感じではありませんでしたが、模型展示やパノラマ展示もあって、わかりやすい内容であったと感じられました。じっくり見ていると時間がなくなり、集合時間に間に合わなくなりそうだったので、最後のほうはバタバタと駆け足で見て回るようになりました。65 歳以上は入館料 100 円で済みますので横浜中心部に出る機会があれば、立ち寄り価値がある博物館だと思います。

博物館の後、ファミリーレストランで食事をして解散しました。



博物館の看板



博物館に入場



博物館前にて

行き先 柏尾川花見(横浜市戸塚区・栄区・鎌倉市)

催行日 平成 31 年 3 月 28 日 **参加者** 21 名(男性 10 名 女性 11 名)

3 月度の歩こう会は、柏尾川川岸の花見を再度実行しました。今年は、昨年より開花が少し遅れており、まだ満開とまではなっていませんでしたが、それでも、満開に近い桜の木も多くあり、花曇りといっても薄曇りのまざるの条件でした。昨年同様、10 時過ぎに戸塚駅から出発し、柏尾川右岸を大船方面に向かって歩きました。昨年の経験から、中間付近にある金井公園で少々時間をかけて休憩を取り、小腹を満たした後、大船駅西口まで歩きました。昨年は笠間大橋の先の鷹匠橋で左岸に移り、陸橋を渡って大船駅西口側に出てののですが、わざわざ陸橋を登り降りすることはないとの意見により、今年はまっすぐ大船駅西口まで進み、エスカレータで大船駅を越えました。この段階で 2 名のメンバーチェンジがありましたが、笑考快議処でも時々利用する「西丸漁港」で昼食をとりました。

その後、解散しましたが、一部のメンバーは鎌倉女子大と鎌倉芸術館・イトーヨーカードー間の道をとおり、砂押川川岸に出てここの桜を見つつ大船駅方面に向かい解散しました。砂押川川辺の桜は柏尾川よりは満開に近い感じでした。



金井公園で休憩



満開の山桜の下で

行き先 秋谷周辺散策(横須賀市)

催行日 平成 31 年 4 月 25 日 参加者 17 名(男性 7 名 女性 10 名)

今回訪問先は会員の若命さんの地元であり、若命さんに案内していただきました。

立石でバスを降り、バス停の場所から 100m 余り谷間の道を登ったところに瀧不動があります。川からでなく岩の間から湧水が落ちて瀧となっており、不動明王が祀られ、境内には馬頭観音塔や庚申塔などもありました。ここの堂守をしている人は 102 歳の婦人で、今回歩こう会に参加した新倉さん(現在の住まいは別だが元々この地の育ち)と親しく、とても 102 歳にはみえないしっかりした人でした。次に訪れた若命家長屋門は今回案内していただいた若命さんの本家筋で、元名主の家柄です。長屋門は横須賀市の指定文化財で 8 年ほど前に横須賀市の補助金も受けて修復されています。若命さんの計らいにより、外観だけでなく、門内に入れていただき、長屋門の座敷、資料保管室などを見せていただき、若命家の庭なども拝観しました。次に浄楽寺を訪れました。前島密の墓がある浄楽寺は、国の重要文化財となっている運慶の仏像 5 体がある場所でもあります。寺の裏側の小高い丘にある前島密の墓に詣でました。郵便制度創設者が眠る寺だけあって、門前には石材で作られ前島密のブロンズ像が乗った本物の郵便ポストがありました。

昼食は、大楠山入口交差点から自動車で大楠山に登れる道を 600m ばかり進んだところの谷あいにある農園風野外レストラン SYOKU-YABO というところで摂りました。昼食で一旦解散となり、数人はここで帰りましたが、残りのメンバーは海岸まで出て、和歌山淡島神社から分祀した淡島神社、十二所神社を参拝、芦名城跡の丘の下を一周する形で浄楽寺まで戻り、ここからバスで逗子に戻って解散しました。



堂守の夫人と梶田さん・新倉さん



若命家長屋門



SYOKU-YABO にて

行き先 久里浜花の国(横須賀市)

催行日 令和元年 5 月 23 日 参加者 16 名(男性 7 名 女性 9 名)

5 月の歩こう会は、くりはま花の国でした。案内は地元在住の新倉さんでした。JR で行く組と京急で行く組があり、JR が遅れたりした関係もあって京急久里浜駅を出たのが計画より少々遅れましたが、徒歩で花の国まで行きました。途中で久里浜天神社の前を通ると、神社のセールスポイントとして最近の世間の状況に合わせ、「ぼけ封じ」を売り文句のひとつとしていので、これは良いと、この前で写真をとったりしました。

花の国では広大な谷間のホピーは、前々日に雨風が強かったせいか花が倒れているものもかなり見受けられましたが、満開の状況でした。

園内では、歩き組とトロッコ列車を模したフラワートレイン利用組とに分かれましたが、ホピー園の頂上を経て子供向けの冒険ランドを経て東京湾・房総半島が一望できるレストランで昼食をとりました。天候も良くレストランからの眺めは雄大でした。ここで、また、フラワートレインを利用して入口まで戻る組と、そのまま坂をくだり、花の国の裏側まで出る歩き組に分かれました。歩き組は花の国からペリー公園と進み、ペリー記念館や記念碑を見学し、バスで久里浜駅まで戻って解散しました。



久里浜天神社



花の国ホピー遠くにフラワートレイン



ペリー公園碑

行き先 横浜歴史散歩(横浜市中区)

催行日 令和元年 6 月 27 日 参加者 15 名(男性 7 名 女性 8 名)

6 月の歩こう会は、横浜中心部の歴史散歩と称し、横浜関内界隈を巡りました。横浜関内界隈は、日本で最初に開港したところであり、日本最初の XXX とか、歴史的ないろいろ記念になるものがありますが、こういうものは見落としになりがちです。その意味で今回の歴史散歩は横浜の歴史を見直すきっかけになったと思います。雨が懸念されましたが、回っている最中は曇りで、今回巡った場所、この時節の気温から考えると、晴れよりもむしろ好ましい天候であったと思います。

関内駅北口を出発し、馬車道にある碑から、近代街路樹発祥の地→太陽の母子像→日本で最初のガス灯の図→下岡蓮杖顕彰碑→中居屋重兵衛店跡 と見て歩き、その後日本郵船歴史博物館で日本郵船の展示物を見学しました。その後、三菱倉庫支店跡の碑を見て、横浜税関資料展示室で税関関連の資料を見学しました。 昼食は、「昭和の洋食レストラン」という雰囲気のある波止場会館内の食堂で喫した後、大栈橋に行きました。あいにく豪華客船が停泊しておらず、閑散としていました。その後、山下公園にあるインド水塔、赤いくつの女の子の像、西洋理髪発祥の地の碑、横浜サンジェゴ姉妹都市 25 周年記念の碑、日米ガールスカウト友好の像、リカメト将軍記念碑を見て回り、マリントワー前で解散しました。



太陽の母子像



日本郵船歴史博物館へ



大栈橋にて MM21 をバックに

行き先 宮ヶ瀬ダム(愛川町)

催行日 令和元年 7 月 28 日 参加者 22 名(男性 8 名 女性 14 名)

数日前まで当日は台風通過の真ただ中の予想で天候が危ぶまれましたが、幸いにも台風は早く通過して天候に恵まれたなかでの見学となりました。

藤沢から小田急で、途中合流組も含めて本厚木まで行き、そこからバスで 1 時間近くかけて愛川大橋で下車、400m ほど歩いて、「あいかわ公園」でそれぞれ持参の弁当で昼食をとり、しばらくそこで時間を潰しました。そこから宮ヶ瀬ダムの下までロードトレイン(トロッコ型の連結自動車)に乗って移動した組と徒歩で移動した組がありましたが、ダム下で合流しました。ダムの放流は 2 時から 6 分間したが、下から見上げる放流は豪快なものでした。

ダム放流見学後、ここで解散しましたが、約半数のメンバーは、インクライン(ケーブルカー)に乗ってダム上の湖畔まで行き、そこから遊覧船で宮ヶ瀬まで行き、400m ある「水の郷大つり橋」を渡り、宮の平の集落のカフェで休憩&バス待ちをした後バスで本厚木まで戻り、順次流れ解散をしました。



放流中



水の郷大吊り橋



宮ヶ瀬湖畔にて

行き先 ズーラシア(横浜市旭区)

催行日 令和元年 9 月 26 日 **参加者** 15 名(男性 7 名 女性 8 名)

ズーラシアは入園料が 800 円とちょっと高めですが、入園料に見合う散策をするだけでも十分なほどの広大な敷地に多くの動物が飼われており、大人だけの入場者も結構いました。ズーラシアでは各動物のスペースも広く、動物たちも気のせいか、のびのびしている感があります。

当日は初秋の爽やかな晴れの日で、JR 横浜線中山駅に集合し、バスでズーラシアまで移動しました。いつもの歩こう会では、出発地から目的地まで集団で移動するというスタイルですが、動物の展示を見て回るという性格上さっさと移動しただけ多くの動物を見て回ろうとする者とじっくり動物を観察したいという者など、人により様々で園内に入るとバラバラになってしまうということがあらかじめ予想できました。そのため、園内に入るとすぐに恒例の集合写真を撮りました。

その後、各自のスタイルで各動物を見て回りました。あらかじめ昼食の場所)と時間を決めておいたので、昼には所定のレストランに集まり昼食を摂った後、午後はまた、それぞれ思い思いに動物の観察にでかけました。筆者はどちらかというところできるだけ園内すべてを見て回りたいたいと思い、急ぎ足で各動物はチラリと見ただけでしたが、時間は随分かかりました。

一足先に帰った者もいましたが、午後 2 時半ごろにズーラシア出入り口附近のバス停に集まり、そこで中山駅行きのバスに乗った者と直接横浜駅行きのバスに乗った者とに分かれ解散しました。全部キチンと見て回るには、1 回の訪問では到底足りない感がしました。



ズーラシアにて



インド象の見学



飼育員によるテナガザルの説明

行き先 横須賀うみかぜの路(横須賀市)

催行日 令和元年 10 月 24 日 参加者 19 名(男性 7 名 女性 12 名)

10 時 30 分 JR 横須賀駅に集合し、駅すぐ近くのヴェルニー記念館で、近代化起点の横須賀製鉄所のスチームハンマーなどの施設、ビデオによる横須賀の紹介等を観た後、海辺に広がるヴェルニー公園を散策、神奈川歯科大・横須賀学院の前の親水公園にもなっている路を通って三笠公園まで進みました。ここで恒例の集合写真を取り小休憩をとりました。それから海岸に近い路を進み、地産地消をモットーに横須賀産の物品を廉価で販売している横須賀ポートマーケットを見て回りました。昼食は神奈川県立健康福祉大の一般も利用できる学食で摂りました。昔の学生時代を思い出させる廉価でヘルシーな料理でした。(某代表のように料理を 2 つ頼んだ人もいましたが)

昼食後、海岸に出てうみかぜ公園を歩きました。この日は小笠原付近にいる台風の影響が少々波が荒れていました。その後、いろいろなオブジェがある「よこすか海岸通り」を海辺つり公園付近まで歩き、ここから京急堀の内駅まで行って解散しました。企画当時予定していた三笠公園の緑地部分や海辺つり公園の散策は、あいにく 9 月の台風の影響で、これらが閉鎖のままとなっていたのでできませんでしたが、それでも一万数千歩のウォーキングとなりました。



ヴェルニー公園にて



横須賀海岸通りの歩道



戦艦三笠をバックに

行き先 伊豆大島(東京都大島町)

催行日 令和元年 11 月 16 日 **参加者** 14 名(男性 7 名 女性 7 名)

生涯現役かなざわ会の門口様よりお誘いがあり、申込みやその他の手続を門口様をお願いして、生涯現役かなざわ会の会員とともに伊豆大島日帰り旅行のツアーに参加しました。

久里浜港より 9 時 40 分の高速ジェット船にて、1 時間で大島元町港に到着、そこから観光バスで「伊豆大島椿花ガーデン」で、園内の数々の早咲きの椿の花を見て回りました。椿の花は派手な花ではありませんか、花の赤と葉の緑とのコントラストが渋い花です。

昼食は大島温泉ホテルで摂りました。午後は外輪山山頂で雄大な三原山や島の外に広がる景色を眺めたりしました。ここには警察署の派出所があり、見回りのおまわりさんに写真のシャッターを押してもらったりもしました。だいたい、島の西北部の山の中腹から頂上を回ったというところですが、この日は天候に恵まれ、椿花ガーデン、大島温泉ホテル、外輪山山頂のいずれからでも、伊豆半島、富士山、箱根、丹沢、江の島、三浦半島、房総半島までグルリと見渡せ、場所によっては三宅島などの伊豆諸島が近くに見られ、大島空港・元町など島内も見下ろせて、展望には絶好の場所・日でした。午後 2 時半には元町港に戻って高速ジェット船で久里浜まで帰宅の途につきました。コンパクトな旅でしたが充実した内容でした。



椿の花



大島空港と本州の山々を望む



三原山をバックに

行き先 平塚総合公園と平塚八幡宮(平塚市)

催行日 令和元年 11 月 28 日 参加者 6 名(男性 3 名 女性 3 名)

天気予報は各社で雨と曇で分かれていましたが、いずれも雨は上がる方向の予報でしたので、決行しました。案に相違して一日中雨でした。平塚駅からバスで総合公園まで行き、総合公園のなかを散策しました。まず日本庭園を散策しました。丁度紅葉が見盛りの頃でした。その後、野球場と競技場に挟まれたスタジアム、メタセコイアの並木道の前、桜の広場、野鳥の森、香木を植えた道、動物園、バラ園など、なんでもありという感がする広い公園を傘をさしながら見て回りました。

総合公園を出た後の戻りは徒歩で、市役所方向に向かい、途中博物館で、宮沢賢治関係(平塚市と宮沢賢治ゆかりの花巻市は友好都市)や宝石の原石など石関係 その他の展示を見ましたが、なかなか見応えがありました。その後市役所食堂で昼食を摂りましたが、意図的に少々時間をずらしたため、ゆったりとリーゾナルに食事と会話を楽しむことができました。その後、平塚八幡宮を参拝した後、平塚駅から東京方向に向かう電車で流れ解散しました。

一日中、雨でしたが、街中の公園の散策であってそれほど支障はなく、雨に濡れた紅葉もそれなりに乙なものでした。



日本庭園



メタセコイアの並木道



平塚八幡宮にて

行き先 弘明寺から保土ヶ谷(横浜市南区保土ヶ谷区)

催行日 令和元年 12 月 26 日 **参加者** 21 名(男性 13 名 女性 8 名)

今回のコースは地元の佐藤さんと梶田さんに案内いただきました。

巡ったスポットを列記すると、京急弘明寺駅→弘明寺公園(カラスの水飲み場、展望台)→弘明寺→乗蓮寺→住吉神社→見番跡の町内会館→井土ヶ谷事件碑→Y 高近く中華食堂(昼食)→杉山神社(水天宮)→獅子頭共用栓→大原隧道→清水ヶ丘公園→北向地蔵→御所台の井戸→福聚寺→保土ヶ谷本陣跡→金沢横町の石碑→桑名屋→保土ヶ谷駅 と盛り沢山でした。

弘明寺公園の水飲み場はカラスが栓を回して水を飲んだり水浴びしたりするということで話題になった場所です。また、展望台からはうっすらと富士山を望むことができました。井土ヶ谷の町内会館は、戦前はここあたり花街であってそのための見番があったところで、それなりの雰囲気がありましたが、さらに昔の姿に復元するというので、丁度工事の最中でした。昼食はあらかじめ目星をつけておいた大衆食堂で、21 人も入ると満杯に近く、常連の客が入るのをあきらめるぐらいだったのは、ちょっと申し訳ない感じでしたが、全員サービスメニューのサンマーメン 500 円を頼み、清算は楽でした。最後に、保土ヶ谷駅近くの蕎麦屋(桑名屋)に寄ると、店先で店の主人が全員にパンフレットを渡して保土ヶ谷宿についての蘊蓄を披露してもらいました。 南区から保土ヶ谷は丘陵地帯と谷間がそのまま街となったところで、宅地造成されたところとは異なり、道は曲がりくねり、坂道は急峻で下町の雰囲気を残していた場所でした。

午前 10 時出発、午後 3 時ごろ解散、約 1 万数千歩の行程でした。



弘明寺にて



清水ヶ丘公園



蕎麦屋門前で保土ヶ谷宿の説明を受ける

行き先 川崎大師参拝(川崎市川崎区)

催行日 令和2年1月30日 **参加者** 18名(男性10名 女性8名)

数日前までの冷たい長雨と打って変わって、小春日和の暖かい日の催行となりました。京急川崎駅に10時30分に集合し、まず、駅すぐ近くの旧東海道を歩き、「六郷の渡し」へと向かいました。途中の「東海道かわさき宿交流館」に立ち寄り、ここでかわさき宿の歴史や川崎の町の発展の歴史などをビデオと展示物などを見てまわりました。「六郷の渡し」からすこし、多摩川の河畔を散策し、大師線の「港町」駅から「川崎大師」駅まで電車で移動し、川崎大師参道を経て、川崎大師に参拝しました。1月末の平日にも関わらず、大勢の人であふれかえっていて、まとまって食事をするのも困難と判断し、門前で一旦解散し、自由に参拝・食事をとることとしました。(結局大半の人が門前の蕎麦屋で食事をする結果となりましたが)

再度集合した後、川崎大師の裏にある大師公園にある中国庭園「瀋秀園」を散策し、川崎大師まで戻って、ここで解散しました。



多摩川の土手を歩く



中国庭園瀋秀園



川崎大師門前にて

行き先 旧東海道と英連邦墓地(横浜市戸塚区保土ヶ谷区)

催行日 令和2年2月27日 **参加者** 13名(男性6名 女性7名)

東戸塚駅に集合し、ショッピングモールのエスカレータなどで旧東海道までの高さまで登り、橋を渡ったところから、旧東海道を保土ヶ谷方面に向かってスタートしました、神奈川県で唯一完全に近い形で残っている品濃一里塚、焼餅坂、相模武蔵国境にある境木地蔵と宿場と宿場の中間の休憩所である境木立場跡を巡り、境木中学校前で旧東海道と別れて、投込み塚の碑を見て、箱根駅伝でお馴染みの不動坂上に向かいました。

ここにある蕎麦屋で昼食を摂る予定でしたが、あいにく臨時休業していて近くに食堂もなかったので、近くのショッピングセンターで弁当を買い、センター内の喫食スペースで昼食を済ませました。午後は、児童遊園地を通して英連邦戦没者墓地に向かいました。児童遊園地は名前から想像される場所のイメージとは異なり、シニアが散歩する緑地公園のようなところです。英連邦戦没者墓地は英国王室関係者が来日すれば墓参に訪れるというところで、いつ訪れても常に手入れをしている状態で、外人墓地とも異なる極めて整然と整備されているところです。訪れたときも、芝生の野焼きをしている最中でした。帰りは反対側から児童公園のなかを通過して不動坂上に戻り、このバス停で解散しました。



東戸塚駅から橋を渡って旧東海道へ



児童公園にて



英連邦墓地にて

行き先 舞岡公園(横浜市戸塚区)

催行日 令和2年6月25日 参加者 15名(男性8名 女性7名)

久しぶりに再開した歩こう会は、まだ、新型コロナウイルスの蔓延が収束していないこともあり、近場でバスに集団で乗る必要がなく、屋外で弁当昼食に適したところという観点から戸塚にある舞岡公園を行先としました。

梅雨の真っ最中で数日前から催行日の天候が気になっていましたが、予報もコロコロ変わりどうしたものかと案じていたところ、前日予報では催行時間帯では雨は上がるとの予報であり、これなら実施できると踏んでいました。ところが当日朝の天候は雨で昼ごろまでは止みそうにないとの予報に変わってしまいました。参加予定者に催行するけれど無理して参加する必要はないとメールを打ちましたが、結局大部分の人が予定どおり参加する結果となりました。

本郷台駅から小雨のなか、舞岡公園までまっすぐ北上し、南側から舞岡公園に入りました。あじさいなどを見て棚田を右に見下ろす谷戸の道を進んで、公園のセンター的役割のある小谷戸の郷には事務所や古民家、休憩所などがあり、ここで昼食を摂りました。この頃には雨も上がり、その後瓜久保というところから、かっぱ池を経て尾根道に上がり、谷戸の村里のなかをとおり、総合案内所虹の家で小休憩した後、地下鉄舞岡駅前で解散しました。約1万歩強の散策でした。天候は今ひとつでしたが、この時期にしては気温が低く、歩きやすい環境でした。丘陵ばかりでなく人の住む谷戸の里も横浜市内とは思えない風景が残されているところで、癒しに散策するには適したところと感じました。



舞岡公園内の田園



山里の風景



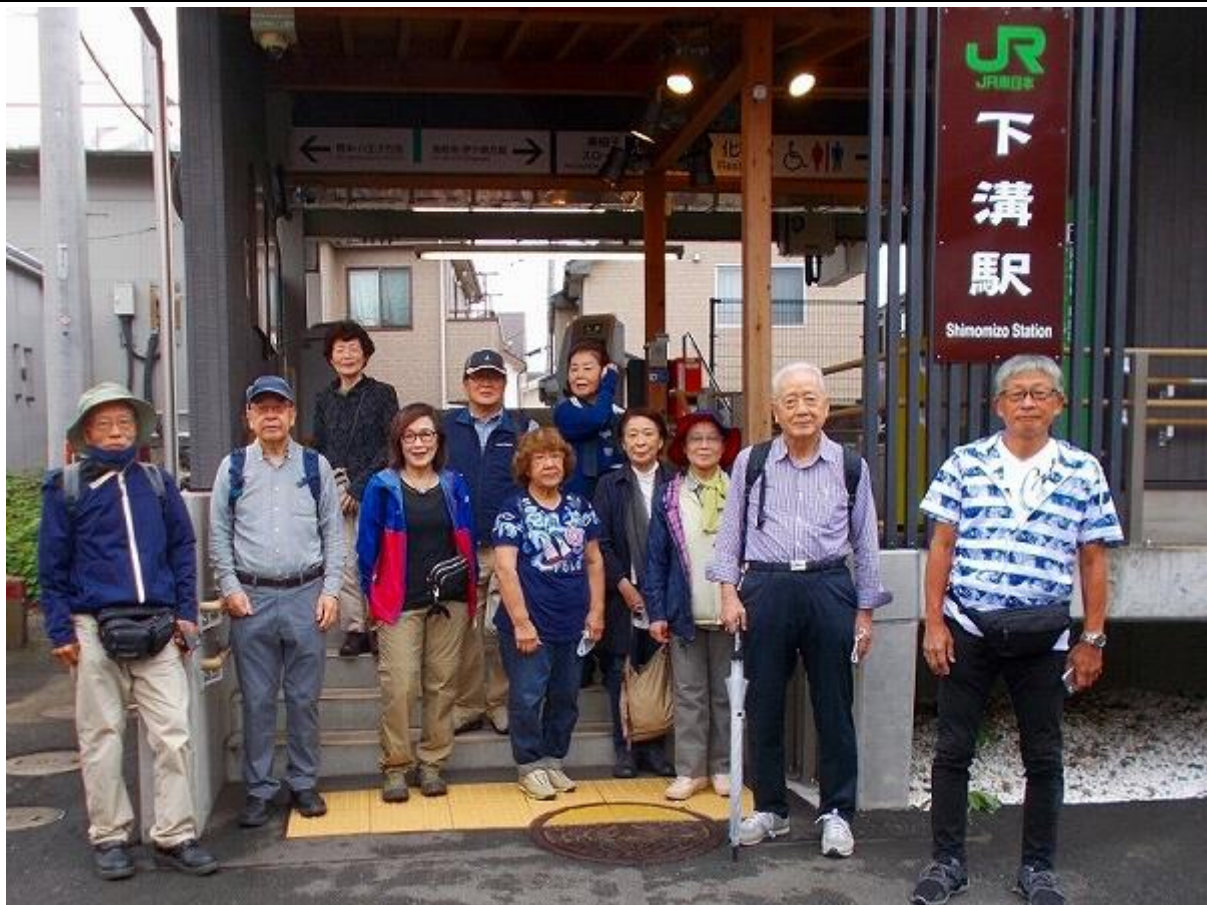
小谷戸の里にて

行き先 相模川河岸段丘追浜界隈散策(横須賀市)

催行日 令和2年10月1日 **参加者** 12名(男性6名 女性6名)

この日の朝も雨模様でしたが、出発するときには雨も完全にあがり、昼過ぎには日が差してきてまずまずの日和でした。相模川左岸は3段の河岸段丘になっています。その一番下の段丘の上を下溝駅から原当麻駅方面に向かって、段丘の林の隙間から丹沢・相模川周辺の雄大な景色を眺めながら段丘の上の道を歩きました。原当麻駅に近くなってから段丘を降りて、川魚料理で有名な「ひょうろくだま」で昼食をとりました。ここは「ますの唐揚げ」が看板料理で、全員「ますの唐揚げ」と「とろろめし」を摂りました。午後は段丘の下の方の八瀬川(自然のままの川)沿いの道を下溝方面に向かって戻り、3段の瀧があるところから段丘を昇って下溝駅に戻り帰路につきました。

段丘の下は田園地帯となっていて、おりから稲の刈り入れ時期とあって段丘の緑と田園の黄金色とマッチし、天気、気温にも恵まれ、ゆったりと散策することができました。



下溝駅前



ひょうろくだま



段丘の下の道を下溝方面へ

行き先 追浜界隈散策(横須賀市)

催行日 令和2年10月22日 参加者11名(男性4名 女性7名)

まず、雷神社に参拝し、次いで雷神社が元あった築島へ。樹齢400年のご神木がポツンとあるだけです、これを説明する碑がありました。次いで自得寺に回り、その後早めの昼食を目抜き通りの商店街で摂りました。密を避けるため、2軒に分かれて入り、ちょっと嫌な顔をされましたが、なるべくバラバラの席で「ソーシャルディスタンス」を取って食事しました。

午後は、丘の上にある三浦三十三番札所の観音寺、下って時宗のお寺の能永寺、浦郷公園を通して海岸に出て漁港の榎木湊で船を眺め、その後トンネルの上の高台に森の中にある官修墓地を訪れました。ここは西南戦争で生き残って帰ってきたのに、コレラの流行に亡くなった兵士のうち、遺族不明の人の墓地です。2月に訪れた英連邦戦没者墓地は明るい墓地でしたが、ここは日本的で鬱蒼とした森の中にあります。墓石を見ると警部補とか巡査の肩書をつけたものが多く、西南戦争では警察隊が多く出動したことを思い起こしました。

その後、尾根の道から追浜北部から横浜南部の風景を眺め、追浜駅まで戻って解散しました。距離的にはそれほど広い範囲を歩いたわけではありません(1万歩程度)が、平地(もとは海?)に丘(元は島?)が多くある地形で、結構上り下りが多く、運動になりました。



雷神社



官修墓地



観音寺にて

行き先 野島・称名寺散策(横浜市金沢区)

催行日 令和2年11月26日 参加者7名(男性4名 女性3名)

当日はハイクには絶好の小春日和の快晴の天候でした。京浜急行金沢八景駅に10時半に集合し、まず、海に突き出た琵琶島神社(瀬戸神社の摂社)に詣でたあと、平潟湾に沿ったプロムナードを南下し、夕照橋を渡って野島に入りました。野島のなかにある染王寺に寄り、その後真っ直ぐ展望台のある山頂を目指す予定でしたが、結果的に右に回って伊藤博文の金沢別邸に近い登り口から登ることになりました。山頂から往復することになりましたが、右に回る途中に日本最大級の掩体壕(戦時中航空機を空襲から守るために造られた壕)を観られたこと、当初予定登り口がきつい階段であったことから、返って良かったかなと思いました。展望の効く山頂で昼食を摂った後、山を下り、伊藤博文の金沢別邸を見学しました。この建物は復元の建物ではありますが、当時の雰囲気、伊藤博文関係の各種展示、入場無料ということもあったなかなか見どころがありました。

野島を出てシーサイドラインに乗って野島公園から海の公園柴口まで移動、そこから歩いて称名寺まで移動しました。称名寺のモミジはイマイチでしたが、銀杏は見事に色づいていました。称名寺からトンネルを潜った先にある金沢文庫博物館で金沢北条氏ゆかりの品々を見学したあと、金沢文庫駅に移動し、そこで解散しました。



野島山頂



称名寺庭園



野島山頂展望台

行き先 佐島・天神島散策(横須賀市)

催行日 令和2年12月24日 参加者13名(男性9名 女性4名)

12月の歩こう会は、横須賀市西岸地域にある佐島と相模湾に浮かぶ天神島を訪れました。まず、逗子からバスで大楠山入口まで移動したあと、トンネルを抜けて佐島の丘の住宅地を市営室内プールがあるところまで、上りました。佐島の丘の住宅地は最近開発された住宅地ですが、電柱もなく、家と家を隔てる塀もあまりなく、非常にスッキリした住宅地です。冬の平日の午前のせいか、人気(ひとけ)がほとんど感じられないような家並みでしたが、午後帰路の途中でバスから小学生の一団が丘を登って帰路についているのを見てようやく生活の匂いというものを感じました。

佐島の丘から、海岸べりの高台に立つマゼランという高級老人ホームのレストランで昼食をとったあと、海岸に沿った道まで降り、この道を天神島方向に向けて歩き、途中の地元の魚屋で物色を行いました。この日は海岸沿いの道を歩くときは、帽子を手に持たなければ飛ばされそうな強い風が吹いていましたが、この時期にしては暖かい南風でしたので、それほど苦になりませんでした。

天神島の前についたところで、参加者の半数は早めに帰り、残り半数は島と本土を結ぶ短い天神橋を渡って天神島に入りました。天神島は人工的な佐島マリーナの部分を除けば一周600m程度の小さな島ですが、島の中央の森の中に天神社があり、参拝しました。島の大部分が臨海自然教育園となっており、そのビジターセンターで島の自然の展示物を見学した後、島を一周してから帰路につきました。



佐島の丘に行く



天神社



マゼランの前で

行き先 逗子海岸散策(逗子市)

催行日 令和3年2月25日 参加者22名(男性11名 女性11名)

1月はコロナ禍のため、催行を見合わせましたが、2月はある程度落ち着いてきたため、催行しました。ただし、まだ緊急事態宣言中でもあり、遠出は避け時間も短く、屋内での会食は避けるというリスク軽減策をとり、逗子海岸を散歩するというコースを選びました。

10時30分にJR逗子駅前に集合し、逗子の街の細い路地を縫うようにして披露山山麓の逗子海岸に出て、ここから逗子海岸の砂浜をゆっくりと、端から端まで波打ち際を歩きました。途中、砂浜の中央付近で昼食をとりました。

前日の予報では、それまでの季節外れの暖かさから冬の気候に逆戻り、天候も曇りということで、寒くて砂浜で昼食をとれるかなということを懸念していました。しかし、幸いにも天気も晴れ、温暖な気候で昼食をとるにもまずまずでした。

砂浜の端の渚橋まで達したところで解散、後は歩いて逗子駅まで戻る人、バスで帰る人、それぞれの方法で帰宅しました。距離的・時間的にも短く、軽く運動するという程度でした



逗子海岸散策



昼食



逗子海岸

行き先 谷戸池フラワーセンター(鎌倉市)

催行日 令和3年3月25日 参加者 15名(男性8名 女性名)

緊急事態宣言は解除されたものの、実態は改善されたとはいえない状況が続いており、3月の歩こう会も近・短・安(全 価)なコースを選び、玉縄の谷戸池の桜とフラワーセンターという身近なコースを選択しました。大船駅に10時30分に集合して西口バスセンター先の切通を越えて、玉縄の谷戸池に行きました。元々は溜池ですが、今は住宅街のなかにある池で、周囲は桜の木で取り囲まれています。規模の大きい桜の名所ではありませんが、静かなところでそれなりの桜があり、八分咲きといったところでした。

谷戸池を一周してフラワーセンターへ。フラワーセンターは玉縄の住民にとって庭のようなもので、地元の会員が2名、直接フラワーセンターで合流、藤棚の下で弁当を摂り、園内を散策して解散しました。フラワーセンターには2日前にも何名の会員が訪れ、コロナ禍で屋内の活動が制限されるなかで、当面の野外集会の場所として今後もちょくちょく利用する計画となっています。花曇りの日でしたが、大船駅に戻るころまでは天候は持ち、まずまずの1日でした。



谷戸池にて



フラワーセンター入場



フラワーセンターにて

行き先 逗子田越川(逗子市)

催行日 令和3年4月22日 参加者 15名(男性9名 女性6名)

4月の歩こう会は、近場・短距離を意識して東逗子から田越川添いのプロムナードをそぞろ歩きました。

東逗子駅前を10時30分に出発、途中の柳原公園まで歩いて数十分、ここで早めの昼食をとりました。田越川添いのプロムナードは散歩に良いところですが、観光コースでもなく、平日の朝であるので、人とそれほどすれ違うこともなく、ゆっくりとした散歩です。川面に多くの鯉が放流されていて春の繁殖シーズンのためか、多くの鯉が激しく跳ね回っているのが観察できました。柳原公園は小さな特にこれといったものもない公園ですが、緑の濃い休憩をとるのに良い公園です。

ところが、この公園への道は田越川の右岸にあり、左岸の道と並行してどこまでも続いていそうで、実はJRと京急と田越川に囲まれた細長い一帯の袋小路になっている先端にあり、次に進もうと思えば400mほどバックしなければなりません。おかげで東逗子から逗子まで距離は短いですが、それなりに長い距離を歩くことができました。逗子駅前まで出てJR踏切を渡り熊野神社に詣で、泉鏡花姫の泉名月の住居跡の碑をみて、逗子駅前に戻り解散しました。



田越川の鯉を見る



柳原公園で食事



熊野神社にて

行き先 能見堂跡(横浜市金沢区)

催行日 令和3年6月24日 参加者8名(男性4名 女性4名)

6月の歩こう会は、横浜金沢区の能見堂跡付近を歩きました。能見堂跡付近は地図を見るだけでは分かりにくいですが、金沢区と栄区・鎌倉市を分ける尾根から分岐した海側に最も近い枝尾根で、江戸時代は金沢八景の遠望地となったところです。

京急能見台駅から出発し、閑静な金沢区の住宅街の坂道を上って行き、800m程進んだところで左に曲がり400m程進んで、能見台中央公園に進みました。ここで小休憩をとったあと、高速道路にかかる陸橋を渡り、住宅地のなかのプロムナードを通して能見堂緑地のなかにある不動池の畔の東屋周辺で昼食をとりました。その後、ここから尾根の上まで約30mあまり登って、能見堂跡へ。昔はここからの金沢八景の眺めが絶景だったようですが、海であったところが陸地となり、市街化され、樹木も繁殖しているので、その場所にある絵図と木陰から垣間見える金沢八景方面の風景を比べながら、昔の風景を想像することになりました。その後、尾根道を下って金沢文庫駅まで出て解散しました。

天候は、一時日が差すのに少雨となったり、曇ったり、晴れたり、安定しない状況でしたが、覚悟していたほど暑くはならず、まあまあといった天気でした。



小雨の遊歩道を能見堂へ



現在の能見堂跡から金沢八景方面



不動池畔の東屋にて

行き先 池子の森自然公園(逗子市)

催行日 令和3年9月23日 参加者 15名(男性6名 女性9名)

7月8月の猛暑シーズンを避け、9月より再開した歩こう会ですが、催行した秋分の日(9月23日)は真夏が逆戻りしたような日でした。それでも快晴で真夏とは異なるさわやかさを感じられる一日でした。コロナ禍の第5波も大分落ち着いてきましたが、それでもまだまだ用心が必要ということで、近場・短距離・野外食事の池子の森自然公園を行先としました。ここは土日と祭日しか開放していないのですが、たまたま定例開催日の第4木曜日が祭日だった関係で実現できたものです。4年前にも訪れてありますが、大半の人が初めての場所です。

逗子駅から東に進み、池子十字路側から、途中、逗葉医療センター、池子遺跡群資料センターなど寄り道をしながら、公園にはいりました。池子の森には多くの深い枝谷戸があり、昔の弾薬庫時代のレールがわずかに残っている場所もあり、それを見ながら池子の森中央の広場の木陰で弁当を広げました。好天とあって、家族連れがあちらこちらでみかけられました。

昼食後、池子の森の奥に進むと米軍専用の地で一般人立ち入り禁止となりますが、そこまで進み、引き返して裏口となる久木口出口方面で散会し。池子に近い人は元の正面入り口へ、逗子駅方面に向かう人は久木口から逗子駅方面と向かいました。



広場で昼食



国境(?)のゲート



池子の森にて

行き先 逗子海岸右回り(逗子市)

催行日 令和3年10月28日 参加者 16名(男性7名 女性9名)

10月の歩こう会は、コロナの状況も落ち着きを見せている時期でもあり、久しぶりにテラスでの会食を摂りました。この2月にも逗子海岸を歩きましたが、その時と逆コースで逗子駅から延命寺、三浦胤義遺孤碑を経て田越川沿いに逗子海岸南端に出ました。そこから逗子海岸の砂浜を北上し、砂浜が尽きた先、海岸道路沿いで海に突き出たところにあるレストラン・サーファーズまで歩きました。天気は快晴・温暖で砂浜にはサーファー、親子ずれ、中学生のランニング練習など、平日でもかなりの人が見かけられました。

のんびり歩いていたせいか、予約時刻より遅れ気味だったので、男性4~5名が先行してレストランまで行ったのですが、歩道が山側にあり、海側にあるレストランに渡る横断歩道がないところか、柵も張り巡らせられたまま。柵を跨いで左右に車がこないことを確かめてから横断しないと、レストランにたどり着けないのはちょっと驚きました。後続組はさすがに事情を知っていたため、200m程度手前の柵のないところから道を横断し、路肩を歩いて店にたどり着きました。それでも交通量は多い道であるし、安全な道であるとは言えません。かなり著名なレストランであるし、駐車できる台数も少ない場所であるから、必ずしも車で来店を前提にしているわけではなさそうなのにとちょっと首をひねりました。レストランのテラスは三方が海で、絶好の天気であったこともあり、快適な環境で食事できました。階段を下りて海岸まで出ることもできました。食事後は逗子の街西側から逗子駅に戻り解散しました。



逗子海岸



海岸からサーファーズを見上げる



サーファーズにて

行き先 泉の森(大和市)

催行日 令和3年11月25日 参加者10名(男性6名 女性4名)

11月の歩こう会は、少し遠出となる泉の森(大和市)としました。泉の森は片瀬西岸に注ぐ引地川の水源となる森です。住宅地のなかにある緑地の大半は、開発から残された丘陵ですが、この緑地は平野のなかの窪地の水源に造成された森林であり、アップダウンもほとんどない散策しやすい緑地です。催行日の25日は、快晴で小春日和のウォーキングに最適の日でした。相鉄相模大塚駅10時30分に集合し、閑静な住宅地を抜けて、泉の森南口にある郷土民家園で復元修復された民家と定期的に行われている茅葺屋根の葺き替え工事の写真パネルなどを見ました。その後、南北に長い森の西側の散策路を北端の「はらっぱ」(といっても、案内地図でイメージしていたような芝生ではなく疎林の広場というところでしたが)まで進みました。そこから森の東側の路を南に進み、途中の疎林のなかの広場で昼食をとりました。木漏れ日のあたる広場で悪くはありませんでした。しかし、キャンプ場に近くどちらかというと夏向きの場所で本当は明るい広場や池があるところまで我慢すれば良かったと、広場に出てから思いましたが、腹時計の関係でまあそうになりました。恒例の集合写真も、昼食をとった場所やその後引地川水源の碑のある場所で撮りました(正確には通り過ぎるの人に頼んで撮ってもらいました)が明るい広場でとればよかったとちょっと反省。

昼食後、広い池や橋がある公園の中心地へと進み、秋の風景を満喫しました。さらに東名高速道路の下をくぐって隣接するふれあいの森を通り、大和駅までは相鉄線が地下に潜った後にできたブルムナードを進み大和駅で解散しました。泉の森は特に紅葉を意識して作られたわけではないので、それほど多くはありませんが、ちょうど紅葉が見頃になるときでした。



引地川水源の碑



森のなかの道を行く



泉の森の池

行き先 常真寺と不動の滝(東京都世田谷区)

催行日 令和3年12月23日 参加者8名(男性5名 女性3名)

約3年ぶりに多摩川を越えて県外(都内)の等々力溪谷・九品仏を行先としました。

小春日和の快晴のこの日、東急横浜駅地下プラットフォームで待ち合わせ、東横線、大井町線経由で九品仏駅まで行き、まず、九品仏浄真寺を訊ねました。九体の阿弥陀如来像が3つずつ3つの堂に安置されているから九品仏というらしいですが、20年かけて修繕事業が行われている最中であり、一体は修繕中で空座になっていました。広い境内で、紅葉の名所ですが、12月下旬となるともう遅いだろうと思っていました。しかし、結構まだ見栄えのする樹木も多く残っていました。

九品仏参拝のあと、等々力に移動し「うおいちばん」という店で昼食をとった後、等々力溪谷に降り、ゴルフ橋から、下流の不動の滝まで溪谷を散策しました。等々力溪谷は大地を蚕食してできた開析谷で、台地が都市化したため東京23区市街地のなかにある唯一の溪谷となっています。溪谷の上流は水がよどんでいます、下流に行くと流れが速くなっていました。武蔵野台地で水が浸透しやすく湧水が多くあるためと説明板にありました。溪谷を歩くとき、上を見上げると建物が見え隠れしますが、正面や川を見ている限りにおいては深山幽谷の趣もあるところでした。

不動の滝は等々力(轟き)の語源となった滝ですが、数条の水が流れ落ちている程度でした。しかし、清水寺音羽の滝でも滝と称しているのだから、不動の滝は立派な滝です。昔なら雨水が浸透しやすく、もっと水量が豊かであったものと思われます。

不動の滝から階段を上って不動尊まで行き、そこから元来た路を等々力駅まで戻り、ここで解散しました。今回は都会のなかのオアシス散歩といったところです。



常真寺門前にて



等々力溪谷にて



不動の滝付近

行き先 森戸神社葉山堀内界隈(葉山町)

催行日 令和4年1月27日 参加者 15名(男性8名 女性7名)

天候は薄曇りで、厳寒季節ではありませんでしたが、幸いにも戸外で弁当を摂るには支障のないこの時期にしてはやや暖かめの気候で催行することができました。JR 逗子駅に集合、バスで山寄りのコースを風早橋まで行き、まず町立図書館3階の郷土資料室でざっと資料を見たあと、旧東伏見宮邸を見学しました。ここは現在幼稚園を併設した修道院になっていて、なかに入ることはできませんが、戦前の典型的な洋館づくりの建物を見学することができました。

次に、尾根の斜面の住宅地の奥にある平松地蔵を訪ねました。この地蔵は説明版によると、枯れた松の地蔵に似た瘤から作られたとあり、その松が江戸時代のような書物で言及されていることが紹介されているが、いつ頃地蔵にされたまでは言及していませんでした。平松地蔵のあと、あじさい公園を訪ねました。尾根の中腹にあり、葉山の堀内地区全般・逗子・鎌倉・江の島・丹沢・富士山と、眺望の良いところです。あじさいの株が多く植えてあり、あじさいの季節には賑わうであろうと思われました。ここから眼下に目的とする森戸神社が良く見えました。

あじさい公園を下って、海岸まで出て、岸壁の細い道を伝って森戸神社に着きました。森戸神社は、海に突き出たところにある比較的大きな神社です。ここの海岸べりで裕次郎灯台や、その先の海、伊豆半島を眺めながら、分散して昼食をとりました。

午後は葉山の砂浜を歩いて葉山マリーナまで行き、その先の旗立山(と言っても高さ25m程度の小さな丘ですが)に登った後、下山しその先からバスで逗子に戻って解散しました。



旧東伏見宮邸



あじさい公園から森戸神社を望む



あじさい公園にて

行き先 三浦海岸河津桜(三浦市)

催行日 令和4年2月24日 **参加者** 17名(男性8名 女性9名)

快晴微風の絶好のウォーキング日和、三浦海岸駅から小松ヶ池公園を目指して京浜急行の線路沿いの道を歩き出しました。スタートした時は多少肌寒さも感じましたが、次第に気温も上昇し、心地よい陽気になってきました。道中には線路沿いに河津桜の並木が続き、桜の下には菜の花が咲き乱れ、空の青と桜のピンクと菜の花の黄色のコントラストが映える素晴らしい景色を見せてくれました。時折通過する京浜急行電車の車体も景色に溶け込んで、撮り鉄の人なら歓喜する撮影スポットと化していました。残念ながら、河津桜はまだ三、四分咲きで見頃とはいえませんでした。菜の花は満開で春の息吹を感じるには充分でした。途中に三浦野菜の販売所があり、しばし桜を忘れ、大根や葉物野菜に目を輝かせていました。

小松ヶ池公園に到着し、谷戸を渡る風を避けて池の淵まで降りてランチとなりました。池で釣りをしている人も見受けられる中、優しい春の陽を浴び、鳥が遊ぶ水面を眺めながらのんびりとランチを楽しみました。小松ヶ池から丘の上のコースを歩く方もおり、二組に分かれながらの散策となりましたが、公園の入口で待ち合わせることにしました。全員合流するまで公園入口でしばし休憩し、三浦海岸駅に戻りました。線路沿いから丘の上を見ると黒い大きな鳥(カワウ?)が両翼を広げて、我々を見送ってくれました。午後はポカポカ陽気になり、心なしか帰路の時の方が河津桜の花が開いたような気がしました。三浦海岸駅に到着し解散しました。



桜と菜の花の道を行く



桜と菜の花



小松ヶ池にて

行き先 秦野戸川公園と水無川花見(秦野市)

催行日 令和4年3月31日 参加者 15名(男性9名 女性6名)

戸川公園では桜とチューリップが見ごろでした。前回と同様、「風の吊り橋」を渡って対岸に行き、前回には行かなかった「はだの丹沢クライミングパーク」に行き、ボルダリングウォールを見学しました。ボルダリングの大会にも使われている本格的なもので、ウォールは垂直に立っているのではなく、それよりきつい角度で設置されているものと初めて知りました。子供から大人まで練習している風景が見られました。

このパークで昼食の弁当をとったあと、前回も訪れた茶室でコーヒーや抹茶を喫し、前回と同様、ここの庭でも集合写真をとりました。その後、橋ではなく、川まで下りて対岸に戻りましたが、水無川の名のとおり、上流側は水が流れているのに対し、下流は伏流水となって、橋がなくても川を渡れます。その後、水無川右岸を下りましたが、上流の700m程の桜は「おかめ桜」でもう盛りは過ぎていましたが、そのあと、満開のソメイヨシノが延々と続いています。途中の前回も立ち寄った古墳公園で小休憩をとったあと、さらに秦野中心部に向かって川を下りました。秦野カルチャーパーク付近でまだ桜並木は続いていましたが、時間もいつもより遅くなっているのでバスが走っている対岸に渡り、そこから秦野駅までバスで行き、秦野駅で直接横浜方面に向かう組と小田原経由で帰る組に分かれ、解散しました。



戸川公園にて



おかめ桜



ソメイヨシノ

行き先 湘南国際村(横須賀市)

催行日 令和4年4月28日 **参加者** 15名(男性7名 女性8名)

4月の歩こう会は、つつじの名所、湘南国際村を訪れました。4月28日は、すっきりした晴とまではいかなかったですが、薄曇りの天候でまずまずでした。逗子駅10時30分のバスに乗り、終点手前の湘南国際村つつじが丘で下車、山の斜面に広がるつつじを堪能したのを手始めに、湘南国際村の各エリアを散策しました。どのエリアもつつじが多く植えられており、さすがにつつじの名所だけあると感心させられました。

研修所や大学院大学等、立派な建物が林立し、つつじが満開という時節にかかわらず、小学生が遠足にきていたぐらいで、閑散としていましたが、連休に入れば賑わうのかなと思いました。昼食をホテルのレストラン OVA で喫したあと、午後は歩いて横須賀東海岸まで下りましたが、真っすぐに県道を沿って下ることはせず、途中遠回りして、春の三浦の山野を逍遙しました。その後、一旦県道に合流したあと、再び県道と別れ関谷川沿いの旧道を下りました。後で地図を確認すると県道は海岸近くまでずっとトンネルのようです。旧道の途中、関根御滝不動尊という社があり、ここに常時多量の水が湧き出ています。名水とされ大量に汲んで帰る人が多くいるそうですが、一応、「飲料水とするには煮沸してください」との注意書きがしてあります。旧道をさらに進んで行くと久留和という海岸の町に至り、ここからバスで逗子に戻って解散しました。



つつじが丘



湘南国際村にて



湘南国際村にて

行き先 三笠公園猿島(横須賀市)

催行日 令和4年5月26日 **参加者** 18名(男性8名 女性10名)

10時30分 JR 横須賀駅に集合、3年前にも訪れましたが駅前にある鍛造品等の体験型学習施設のあるヴェルニー記念館を見学、その後ヴェルニー公園を縦断し、公園の逆の端にあるティボディエ邸を見学しました。ヴェルニー公園はちょうどバラの季節で園内では花が咲き乱れていました。また、近くの岸壁には自衛隊最大の護衛艦いずもが接岸しており、多くの人間がカメラを構えていました。ヴェルニー公園の後、海辺に近い道を通って三笠公園に向かいました。

3年前に訪れたときは、台風後の影響で公園内に入ることはできませんでしたが、今回は公園内の海辺に面したイスのある休憩所で弁当による食事、その後は、猿島への出航時刻が近づくまで園内を散策しました。

15名で三笠公園隣接の船着き場から猿島に渡りました。団体割引は辛うじて受けることができました。猿島は元々は平地のほとんどない平凡な小島だったので、要塞化されてから変容したようです。島内を散策しましたが、半分以上が切通しとトンネルで、砲台跡や海沿いの広場で少しゆっくりしていたら、帰りの船の時刻までの1時間が軽く過ぎてしまいました。

三笠公園前まで戻って流れ解散としましたが、多くの参加者が「どぶ板通り」の店などウィンドウショッピングしながら JR や京浜急行の最寄り駅から帰宅しました



ヴェルニー公園にて



三笠公園



猿島

行き先 小網代の森(三浦市)

催行日 令和4年6月23日 参加者 19名(男性12名 女性7名)

三浦半島先端近く西岸側にある小網代の森を訪れました。小網代の森は森林、湿地、干潟及び海までが連続して残されている、関東地方で唯一の自然環境と言われています。

三崎口の駅前からバスで出発、引橋バス停から谷の一番奥から、下りていく形で森のなかに入りました。小網代の森の谷間の中央には木道が整備されていて、歩きやすくなっています。ここで緑の自然を楽しみながら、海の近くまで歩いていくと、海の近くに「えのきテラス」と呼ばれる休憩所があり、ここから油壺方面に向かう道と海の干潟まで向かう道に分かれています。ここで干潟までいくと、干潮でチゴガニと呼ばれる小さな白いカニが集団でカニダンスと呼ばれるハサミをシンクロしながら振り回すめずらしい光景がみられました。干潟から元の「えのきテラス」に戻り、ここで昼食休憩を摂りました。

昼食後、小網代湾沿岸をシーボニア方面に向かいました。途中、アカテガニが道のそばの崖に生息しているのを見かけました。その後、バス道路まで上がり、ここで4名はバスで早めに引き上げ、残りのメンバは、油壺湾の奥の路を経て諸磯湾の沿岸にある風工房を訪ねました。広い庭のあるクラフト工房があるところで、ここを見学しようと計画していたのですが、工房全体が閉鎖されてしまったとの事。しかたなく、元の路を戻り、油壺湾の奥から、南岸の路を進み、途中で半島の中央にあるバス道路まで登って、油壺バス停から京急三崎口まで戻り、そこで解散しました。海岸沿いのコースながら、この歩こう会のコースとしては比較的アップダウンのあるコースとなりました。(といっても高度差30メートルですが)



小網代の森に行く



諸磯湾に沿って風工房へ



小網代の森えのきテラス

行き先 大井ふ頭海浜公園なぎさの森(東京都品川区大田区)

催行日 令和4年9月22日 **参加者** 12名(男性7名 女性5名)

午前中は曇、午後からは雨という予報でしたが、都会でもあり雨具持参でなんとかなんと踏んで催行を決断しました。結果的に午前中は薄日が差すまずまずの天気、昼食後、ちょっと雨が降ってきましたが、傘を取り出して傘をさすまでもなく直ぐ止んで曇の天候で、まずまずの天候でした。

京急大森海岸駅に集合し、そこから北上し、まず鈴ヶ森の刑場跡(丸橋忠弥の磔台や八百屋お七の火炙台などあり)を見学した後、水族館もある細長い品川区民公園を縦断しました。そこからモノレール大井競馬場駅傍を通過、橋を渡り、大井ふ頭海浜公園なぎさの森に入りました。まず、運河側の路を通り、公園中央の広場にて昼食をとりました。なぎさの森はこれも細長い公園で深い森ではありませんが、それでも中央の広場に入ると深い森の中に入っているような錯覚を起こさせる場所です。近くの管理事務所に40年前の殺風景な埋め立ちの写真も掲示されていましたが、数十年たつとこのような森になるのだなと思いました。品川区民公園もなぎさの森も工事中の箇所があり、本来なら公園の中を通るところを公園脇の道路を通らねばならないところがあったのがちょっと残念でした。昼食後、さらに先に進み、新平和橋というところから、平和島の倉庫群の中を通り、ビッグファンという複合アミューズメント施設で休息をとったあと、そこから平和島駅まで歩いて行く予定でしたが、ビッグファンからもよりの駅まで100円を行くことができるシャトルバスがあるのを知ると、そこで安楽な方向へと堕落し、ビッグファンで解散し、バスでJR組は大森駅へ京急組は平和島駅に向かい帰路につきました。



品川区民公園



夕焼け橋



なぎさの森広場

行き先 長浜公園・八景島（横浜市金沢区）

催行日 令和4年10月28日 **参加者** 18名(男性11名 女性7名)

10月度の歩こう会は、先月と同様海辺にできた造成地に作られたグリーンベルトを歩くという趣旨で、横浜市金沢区の長浜公園から八景島あたりを歩きました。

京急富岡駅に集合した後、駅のすぐ傍の京急線人道トンネルがあり、ここで戦時中空襲警報によりこのトンネルに避難した人が多数爆弾で犠牲になったという歴史について梶田さんからの説明がありました。その後、近くに日本画家河合玉堂の別邸だった二松庵庭園があり、予定にはなかったのですがここに立ち寄りしました。ここは月1回公開日がありますが、公開日でなかったので入り口の門だけ見るつもりでした。しかし、ここの運営を行うボランティアの人の好意で門の中まで入れてもらい、別邸の説明をしていただきました。河合玉堂別邸の後、グリーンベルトの長浜公園を縦断し、公園内にある汽水池に飛来するサギやカモなどの野鳥を観察し、長浜野口記念公園にある長浜ホールで野口英世に関するさまざまな資料を見学しました。

その後、延々と続く緑地帯を南下し、マリンゲートから八景島に入り、ここのレストランで遅めの昼食を摂りました。元々八景島に着く時間は遅くなると予告しておいたのですが、河合玉堂別邸見学など予定外のところで時間をとられたこともあり、八景島に着いたのは午後2時を過ぎていました。昼食を摂り終わると3時を過ぎていたので、金沢八景大橋を渡りシーサイドライン八景島駅から京急組は金沢八景駅方面へJR組は新杉田方面に向かって解散しました



長浜公園内



八景島に入る



長浜センターにて

行き先 鶴ヶ峰周辺（横浜市旭区）

催行日 令和4年11月24日 参加者13名(男性7名 女性6名)

今回のウォーキング地の旭区は、鎌倉殿の13人の一人である畠山重忠の終焉の地であり、それに関するいろいろな史跡を紹介するパンフレットを作成してPRしていますが、そのパンフレットに基づいて畠山重忠ゆかりの地を巡りました。

相鉄鶴ヶ峰駅を出発、帷子川暗渠の上の遊歩道、帷子川上流の堤防の路を歩き、堤防傍の公園で昼食、その後住宅地にある薬王寺、籠塚などを巡りました。その過程では畠山重忠に関する石碑や標識を見学しました。当然ながらここで戦って敗れて亡くなったというところですから、すべて戦に関するものです。史跡があるのは帷子川暗渠の外は住宅地にありますが、元々丘陵地なので結構上り下りがありました。その後、白根公園・帷子川下流方向にある親水緑道を歩き、鶴ヶ峰駅に戻りました。そのサイゼリアで休憩したあと、解散しました。

帷子川はそれなりの広さがある川で上流方向への堤防の路は上流に向かって左手方向が丘陵となっていて散歩するに気持ちの良い道だろうと思います。白根公園にある溪谷は都会のなかにある溪谷として等々力溪谷のミニ版のようで、等々力溪谷にはない滝(白糸の滝)もあり、距離は短いですが、深山幽谷を感じさせ、紅葉も相まってなかなか良いところでした。帷子川下流の親水緑道も元々河川敷だったところを散歩に適するよう作られており、ここも同様に紅葉があり気持ちよく歩けました。



白根不動尊にて



白糸の滝



帷子川親水緑道

行き先 京急富岡周辺（横浜市金沢区）

催行日 令和4年12月10日 参加者11名(男性8名 女性3名)

12月度の歩こう会は、あまり歩かずゆっくりとする趣旨で、10月に引き続き金沢区富岡周辺を歩きました。天候も小春日和でなによりでした。まず、京急富岡駅西側にある約1kmの長さの富岡川せせらぎ緑道を往復して歩きました。富岡川は京急線西側の山地の水を集めて流れる川ですが、ほとんど周辺の山地が宅地化され、わずかに富岡駅近くの一部が緑地として残っていて昔の面影(昔は知らないが)を感じさせます。この川は富岡駅西側の広い後背地を流域としているようで水量はそれなりにあります。実際は川が暗渠となっていて、一定量をポンプでくみ上げてせせらぎとして流しているようです。町中のせせらぎですが、地元の人にとってはやすらぎの散歩道であろうと感じました。富岡川せせらぎ緑道を歩いた後、河合玉堂別邸を散策しました。10月にも訪れましたが、公開日でなかったもので、門を入ったところで説明を受けるにとどまっていた。公開日は月1回第1土曜日ですが、12月のみは第2土曜日にも公開されるというので、この日に合わせて歩こう会を設定したものです。ちょうど紅葉が見ごろとなっていて邸内の庭をゆっくりと散策しました。その後、国道沿いの食事処で昼食を摂った後、半数はここで帰り、残りのメンバで富岡八幡宮、慶珊寺、長昌寺を見て回り、国道まで出たところで流れ解散しました



富岡せせらぎ緑道



富岡八幡宮



河合玉堂別邸庭園にて

行き先 三戸海岸周辺（三浦市）

催行日 令和5年1月26日 参加者 14名(男性8名 女性6名)

1月の歩こう会は三浦半島の南部 三崎口より西側の三戸地区を歩きました。10年に1度の極寒の最中ということで寒さを懸念していました。幸い1日ずれて、寒い日ではありましたがやや気温としては持ち直し、ゴバルトブルーの相模湾の向こうに富士山・天城山・箱根・丹沢の山々が良く見える冬晴れの日となりました。

京急三崎口駅を出発、三戸口から三戸の広大な農園地帯を回り込むような形で、三戸の集落に至り、集落の里道を通り、宝徳寺を経て三戸海岸にでました。三戸の砂浜を歩き江戸城築城のための石材が運搬途中に海に落ち、流れ着いたというサンコロ石を見て、近くの上諏訪神社傍の公園で昼食をとりました。

その後、海岸に沿って磯伝いに黒崎の鼻という海に突き出た海を眺める岬を目指して進みました。ところが、黒崎の鼻近くで尾根に登って稜線を進もうとするとひどい藪路で数人は岬の突端まで進みましたが、多数はそのまま尾根を越えて北側の岬北側の海岸に下りました。全員合流後岬北側の海岸線の道に出て、最短のコースを通してバス道まで出てそこで流れ解散しました。



三戸の畑



黒崎の鼻北側の海岸にて



三戸海岸にて

行き先 曾我梅林（小田原市）

催行日 令和5年2月23日 参加者 17名(男性9名 女性8名)

国府津駅を10時30分に出発、線路沿いの道を歩き、ガード下を潜って東海道線の北側に出たところにある菅原神社を訪ねました。名前のとおり、菅原道真に関する神社ですが、曾我の地にあるだけに曾我兄弟に関する隠れ石というものもありました。境内に「通りゃんせ」発祥の地の歌碑がありました

菅原神社の後、別所の梅林に向かう途中にある宝金剛寺によりました。この寺が鎌倉にあれば瑞泉寺並に花の寺として有名になるだろうと思うような梅林の花が満開でした。

その後、目的の別所曾我梅林に向かって県道を歩きましたが、さすがに梅の里かあちらこちらに多くの梅林があり、県道沿いの住宅の庭にも梅の木が植えられているところが多くありました。

曾我梅林では、休日で満開であったこともあり、多くの花見客で賑わっていましたが、梅林のなかに場所を確保し、車座になって昼食をとりました。出店も多く出されており、ミカンなどスーパーで買うよりずいぶん安く買うことができました。梅林のなかを歩き、帰路は下曾我駅まで進み、ここからJRで帰宅しました。

結果的には歩きだす頃から、晴れて暖かく早春のうらかな気候となって絶好の梅見日和となりました。



宝金剛寺



曾我梅林にて



曾我梅林にて

行き先 野毛山界隈（横浜市中区）

催行日 令和5年3月30日 参加者 15名(男性9名 女性6名)

3月下旬はスッキリしない天気が続いていましたが、3月30日は快晴とまではいかなかったがまずまずの天気で、桜もまだ残っていて歩こう会には恵まれた日となりました。

京急日ノ出町駅に集合し、そこから路地のような細い階段を約30mの高さを登って野毛山公園を訪れました。野毛山公園には海側周囲が遠望できる展望台があり、江戸時代から内海となっていたところを埋め立て、現在の横浜中心部ができている様子が説明板と現実の景色を比較しながらわかるようになっていました。野毛山公園から橋を渡って野毛山動物園へ。動物園では小さな子供をつれた家族と幼稚園保育園の園児が大半を占めていました。ここで、時間を決めて自由行動とし、童心に返って展示動物を眺めそれぞれ任意の場所で昼食をとりました。

午後は横浜成田山別院を経て丘の上にある伊勢山皇大神宮へ。ただし、ちょっと疲れたのか結婚の記念撮影をしている2組を横目に見て拝殿まで進んだのは数名で、後は下で待っていました。

その後桜木町の駅を経て、新しい横浜市役所のビルのなかをとおри、ザタワー横浜北仲46階展望台へ。もちろんランドマークタワーより低いですが、無料で開放されており、展望はなかなかのものでした。それからの帰路で流れ解散となり、市役所ロビーの喫茶コーナーその他で休憩をとり解散しました。



野毛山公園



46階よりの遠望



野毛山動物園

行き先 観音崎(横須賀市)

催行日 令和5年4月27日 参加者 15名(男性7 女性8)

横須賀の馬堀海岸から観音崎への道を歩きました。京急馬堀海岸駅に集合、バスで馬堀中バス停まで移動しました。そこに浄林寺という寺がありますが目的地はその寺の200mほど離れた寺の飛び地の馬頭観音です。そこは馬堀という地名の由来となり宇治川の先陣争いで有名な佐々木高綱の乗馬池月を祀ったところです。(もっとも池月の由来には諸説あるようですが)

この馬頭観音を見た後、バス停まで戻ったところで遅れてきた2人と合流し、方向を変えてトンネルを2つ通って、よこすか海岸通りに出ました。この道の海岸沿いにある走水水源池管理センターと公園を訪ねました。小さな半島の先の海際に水源池があるのはなんとなく不思議な気がしますが、水飲み場もあり湧水も飲めるようになっています。その後、ここにある割烹旅館東京湾というところで昼食をとりました。しかし、食事は良かったですが、名前から連想されるようなオーシャンビューはあまり望めないところでした。

午後は海岸通りを進み、途中から少し山際の道を進むと寺が3つばかり並んでいましたが、その先に走水神社があり、そこに寄って休憩した後、さらに海岸通りを進んで観音崎バス停までたどり着いたところで、この日のウォークは終了し、解散しました。

この日は、気温は暑くも寒くもなく、天気も快晴で絶好のウォーキング日和でした。空気も澄んでいて昼過ぎでも富士山が良く見え、また、東京湾が最も狭くなっているところで対岸の千葉側も良く見えました。



湾の向こう側に富士山を望む



海岸の道を観音崎へ



昼食場所 東京湾

行き先 花菜ガーデン(平塚市)

催行日 令和5年5月25日 参加者 19名(男性11名 女性8名)

5月の歩こう会は、平塚にある花菜ガーデンを訪れました。2年前にも計画していましたが、雨のため中止となっており、そのリベンジの形でした。曇りから晴でしたが、気温は24～5度で歩くにはまずまずでした。同じ植物園でも大船フラワーセンターが比較的万遍なく樹木・草花を植えているのに対し、花菜ガーデンは草花と農作物に重点を置いており、特にバラに力点があります。5月はバラのシーズンということもあって平日にも関わらず多くの客が訪れていました。(我々と同じシニアが大半です。また、5月がピークシーズンということもあって入場料金が他の月より高く設定されていましたが。)

平塚駅から平塚支援学校前までバスで移動、田園地帯を少し歩いて花菜ガーデンへ。入場後、まずフラワーゾーンのバラ園で数多くの品種のバラをゆっくりと見て回りました。昼食はそれぞれの場所で行いましたが、多くの方はバラ園傍の木陰の芝生でとっていました。昼食後、あらかじめ決めておいた入り口近くに集合して休憩、多くの方がソフトクリームをデザートとして摂ったあと、恒例の集合写真を撮りました。一部の方はここで早期に帰宅、残りの方は花菜ガーデンでのもう一つの柱、アグリゾーンで水生植物、田畑、果樹園等を見て回り、午後2時過ぎに花菜ガーデンを出て一応解散としましたが、多くの方は近くの農産物直売所を物色した後、平塚駅前までバスで戻り、駅前のガストで休憩を取った後、帰宅しました



バラ園



チャペックの家



花菜ガーデンにて

行き先 えびねやまゆり園他(藤沢市)

催行日 令和5年6月29日 参加者 15名(男性6 女性9)

6月の歩こう会は藤沢市遠藤にある「えびねやまゆり園」と慶応大学湘南藤沢キャンパス(SFC)、遠藤笹窪谷公園を訪れました。真夏の気温となり少々バテ気味の歩こう会でした。辻堂駅からバスで慶応大学まで、ここで横浜から湘南台経由でバスで来たメンバと合流し、守衛に断りを入れてSFC内へ。折しも多数の高校生がキャンパス見学の日だったのか大勢が出てくる所でした。SFCは丘陵にあったところに作られたのか、自然の形が多く残されている所でした。建物番号が普通は1、2、3と数字で示すかA、B、Cとアルファベットで示すところを α 、 β 、 γ とギリシャ文字で表しているところがちょっと気取っているなという印象でした。

構内を半周し福沢諭吉の銅像を見て、こうがい校外に出、昨年開園し丁度1周年を迎えようとしている遠藤笹窪谷公園を訪れました。SFCの北側は、丘陵が森として残されていますが、その真ん中にあるのが遠藤笹窪谷公園です。谷戸の下手に事務所があり、その2階が公園全体を一望できるようになっていたの、公園をながめ、次の目的地である「えびねやまゆり園」を訪れました。

「えびねやまゆり園」は「遠藤笹窪谷公園」と同じ丘陵の森にあって、竹林のなかの施設です。竹林の中にあるため、入り口で用意してあった虫よけスプレーなどを腕などに噴射してから園内にはいりました。花といっても花菜ガーデンのバラのように派手な花ではなく、渋さを感じる園内散策でした。

「えびねやまゆり園」の後は、遅めの昼食を地元の食材を使用していることがウリの「農家レストランいぶき」でとり、その後SFC前の相模ハム直売所に立ち寄ったあと、解散しました



SFC キャンパス内



遠藤笹窪公園



えびね山百合園

行き先 三ツ池公園（横浜市鶴見区）

催行日 令和5年9月28日 **参加者** 18名(男性11名 女性7名)

彼岸過ぎの後で暑さのピークとなる真夏のなかでの開催となりました。

10時半にJR 鶴見駅に集合と開催案内に記載しておきましたが、鶴見駅の改札口は東口・西口共に同じ程度の規模の改札口だったので、これは開催案内・記載ミスだったかと反省しました。幸い、目的地が京浜東北線西側であるから西側だろうと皆が判断してくれたおかげで、あまり問題なく集まることができました

バスで三ツ池公園正面入り口まで移動し、まず園内にあるコリア公園を見たあと、名前の由来である三つの池の周囲を回り、途中で昼食をとりました。真夏の暑さのため比較的閑散としていましたが、小学生の遠足が2組きていたのと、池の周囲をランニングしている人、親子連れの人(集合写真はこの親子連れのお母さんに頼んで撮ってもらった)そのほかぐらいでした。小学校の遠足も我々と同じでスケジュールが決まっているから暑いからといって簡単に動かすわけにはいかないのだろう。先生も熱中症を起こさせよう管理が大変だなあと同情しました。

三ツ池公園一周だけでは歩く距離が短いので、オプションとして総持寺境内散策も考えていましたが、この暑いなか、行こうという声はだれも出ず、バスで鶴見駅に戻り解散し、直帰する人、レストランで休憩して帰る人、それぞれでした。



コリア公園



三ツ池



三ツ池にて

行き先 台峰・源氏山(鎌倉市) 催行日 令和5年10月26日

参加者 20名(男性12名 女性8名)

北鎌倉駅前から、車が通る鎌倉街道を避けて旧交番の横から路地を通して光照寺に向かいました。この路地は竹垣や生垣で囲まれた屋敷の間を通る狭い道で知る人ぞ知る趣のある道として知られています。

途中、関所の関から転じた咳から咳の神様と言われる「おちゃぶきさま」、刀鍛冶の集団である藤源治町の神社である山中稲荷等を通して、円覚寺や東慶寺ほど有名でないですがクルス門のある光照寺に立ち寄り、高台の上の真っすぐな道(戦前横須賀海軍の将校の住宅があり海軍道と呼ばれている)を通して、神明神社の下から山崎小学校方面に向かう坂を登りました。ここも昔は切通だったのですが、今は登り方面に向かって左側は切り崩され右側の崖にその跡が残っています。

山崎小学校の手前から山道に入り、台峰の緑地の尾根道を上りました。当初の計画では源氏山に着いた後、昼食の予定でしたがこの途中で昼になったので適当な場所で昼食をとりました。

その後、北鎌倉女子学園のグラウンド傍を通り、六国見山、円覚寺などが見渡せる見晴らしの良いところで写真を撮ったりしながら尾根道を進み、北鎌倉と梶原を結ぶ自動車道の峠付近に出て、そこから少し北鎌倉寄りに寄ったところから葛原岡神社・源氏山へと進んで休憩や写真を撮ったりしました。帰路は銭洗い弁天に立ち寄り、鎌倉駅まで進んで、解散しました。



台峰



源氏山



台峰にて六石見山を背景に

行き先 本牧山公園・三溪園(横浜市中区) 催行日 令和5年11月23日

参加者 16名(男性9 女性7)

ひつじ雲が澄み切った高い空に模様を描くような、爽やかな秋晴れの山手駅を十時半にスタート。最初に訪れたのは根岸外国人墓地。段々畑のように四段になっています。寂寥感が漂うのは、日本人女性と外国人との間に生まれた嬰兒も多く埋葬された悲しい歴史が物語っています。

次の本牧山頂公園への道は急坂。気温も上昇し皆汗ばみ自ずと隊列が長くなります。アメリカ坂から正午頃に見晴らしの良い山頂に到着。本牧ふ頭の「港の麒麟」と称されるガントリークレーンを遠望しながら長閑なランチタイム。レストハウスでビール、コーヒー、アイスを購入する人が多くいました。また、散歩中の様々な犬種に触れ合い癒されました。

丘を下り、出雲式の大しめ縄が真新しい本牧神社に参拝。「お馬流し」という神事で有名な神社です。その後、最終目的地の三溪園に向かいました。10名以上の団体割引、横浜市民割引で安く入園。正門の藤棚広場の小菊盆栽などを鑑賞し、大池を半周して中央広場の見事な大菊の展示も鑑賞。猿回しを横目にここから自由行動とし、小グループに別れ三重塔や合掌造りの矢筈原住宅など見学。三重塔からは富士山も見ることができ、紅葉はこれから色づく木々もチラホラ、穏やかな晩秋の一日を満喫。予定を変更し正門からバス停に向かいました。祭日で園内もバスも混雑していましたが全員が無事に家路につきました。



本牧山



三溪園



本牧山

行き先 レインボーブリッジ・お台場(東京都品川区・江東区)

催行日令和5年12月14日 参加者11名(男性5名 女性6名)

東京のレインボーブリッジとお台場を歩きました。田町駅で集合、田町から芝浦まで歩いて移動し、芝浦からレインボーブリッジの歩道でお台場に渡りました。大きな船を通すため、芝浦側は最初から高くなっています。そのため、自動車道路は海の上でループして高度を稼いで高くなってから海を跨いでいますが、歩道の場合はエレベータで高く上がり、それから海を渡るようになっています。歩道は北側と南側にありますが、都内の高層ビル群を見渡せる北側の道を通りました。天候も良く、スカイツリーや東京タワーも良く見渡せました。

お台場側は徐々に低くなって歩いて直接地上に達するようになっています。ここでお台場の語源である砲台跡のよく整備された台場公園で昼食をとりました。昼食後はお台場海浜公園を進んでゆりかもめのお台場海浜公園駅から終点の豊洲まで進み、豊洲にある三井ガーデンホテルの最上階のテラスから東京の高層ビル群を眺めました。午後の逆光の日差しだったので、ややボケた感じは否めませんでしたが、夜景はさぞかし綺麗であろうと思われました。豊洲からは地下鉄で有楽町に出て帰路につきました。この日は気温が下がると予報されていましたが、それほど寒くなく、散策には適当な日和でした。



レインボーブリッジから都内ビル群



レインボーブリッジ歩道を歩く



お台場公園にて

行き先 久良岐公園岡村天満宮(横浜市港南区磯子区)

催行日 令和6年1月25日 参加者 20名(男性12名 女性8名)

横浜市南部港南区・磯子区・南区京急線の東側の丘陵地帯の住宅地を歩きました。

寒い一日と言われていましたが、歩くとそれほど寒さを感じることなく、また冬晴れで昼前後になっても富士山がはっきり見えるなど冬の散策には最適の一日でした。

平面的な地図を見ていただけではわかりませんが、住宅地といっても丘陵地帯を開発したところですから、岡村天満宮以降は別として、全体に上り下りを繰り返しの連続した。また、歩行距離も最近の歩こう会では長い距離だったので結構いい運動になりました。京急上大岡駅を10時40分ごろ出発、まず小高い丘の上にある真言宗真光寺へ、ここで境内を見学した後、丘を下り久良岐公園へ入りました。久良岐公園は一つの谷戸全体を公園にしたもので、北側の低地から入り、入り口近くの大池で小休憩、その後谷戸の上まで公園をぐるりと一周散策し、元の大池池畔に戻って、昼食弁当としました。

昼食後、久良岐公園に隣接する能舞台へ園の外側から回って入りました。能舞台そのものは使用中ということでじっくり見学できませんでしたが、係の人が襖を開いてチラリと舞台と客席を見せていただきました。能舞台の庭を散策後、岡村天満宮まで進みました。シーズンには早いですが、早咲きの梅がチラホラと咲いていました。岡村天満宮の後、地下鉄蒔田駅へ。途中吉良氏ゆかりの寺勝国寺に立ち寄り、蒔田駅で到着後解散しました。



久良岐公園大池



岡村天満宮



久良岐公園大池付近にて

行き先 富岡総合公園(横浜市金沢区)

催行日 令和6年2月29日 参加者 19名(男性11名 女性8名)

京急富岡駅を10時30分に出発、まず富岡八幡宮を目指しました。富岡八幡宮は小高い丘の上にあります。その裾野の富岡八幡宮公園で小休憩の後、参道の坂を登って富岡八幡宮境内へ。富岡八幡宮参拝後、参道の坂を下って富岡総合公園に向かいました。

富岡総合公園は、戦前は横浜海軍航空隊があったところで、かなり大きい丘陵とその北側の裾野が公園の範囲内ですが、丘陵には登らずその裾野を一周する形となりました。富岡八幡宮方面からの入り口の接点であるなぎさ橋から右回りするか左回りするかと選択肢があり、左回りのほうが航空隊の隊門がありそれを越えて公園に入るという形で望ましかったのですが、結局右回りのルートをとりました。公園に入ってすぐに広い草地広場があり、そこで少々時間的に早かったのですが、昼食をとりました。その後丘陵裾野に沿った緑道を右回りに進みました。途中梅園もありました。時期的に少々遅い感もありましたが、まだまだ梅も咲いていました。さらに進んで浜空神社へ。神社とあるから社もあるかと思ったら碑が残っているだけでした。その後さらに進んで横浜海軍航空隊隊門が当時のままのこされているのを見て、鳥見塚のところで公園を出ました。

公園を出た後、バス道路に沿ってなぎさ橋まで戻り、その後孫文ゆかりの寺という慶珊寺(けいさんじ)に立ち寄りしました。その後京急富岡駅方面に戻って解散しました。



富岡総合公園で食事



横浜海軍航空隊隊門



慶珊寺にて

行き先 大岡川(横浜市南区中区)

催行日 令和6年4月4日 参加者 15名(男性10名 女性5名)

今年の3月の歩こう会は横浜大岡川沿いの花見を企画しました。当初予定日の3月28日は天候不順・ソメイヨシノ未開花ということで中止し、1週間後の4月4日開催としました。10時30分に京急弘明寺に集合。まず弘明寺に参拝した後、弘明寺商店街アーケードのなかを歩いて大岡川に架かる橋観音橋を起点に川の右岸を花を観ながら歩きました。河岸にはソメイヨシノとジンダイアケボノが植えてあります。ソメイヨシノはまだ、満開にはちょっと早いかなというところ、ジンダイアケボノは満開でちょっと散り始めというところでした。

当初の予定では屋台が多く出ているであろうから、そこで食べ物を買って腹を満たそうというつもりでしたが、屋台は当初開花予定時期に合わせて出店許可が下りていて、本当にニーズがあるこの時期には屋台出店の許可期間が過ぎているということで、出ていません。(そこが融通の利かないところですが)仕方なく蒔田近くのレストラン夢庵で昼食をとりました。午後はお三ノ宮日枝神社に参拝。ここで集合写真を撮りました。本来であれば桜の下が望ましかったのですが、多くの人が歩いている遊歩道では適当な場所がなく、やむを得ずここになりました。その後さらに大岡川を下って日ノ出町まで進みました。大岡川下流ではソメイヨシノもほぼ満開でした。船から桜を眺めるツアーも開催されていました。日ノ出町のサイゼリアで休憩をとった後、解散しました。



ジンダイアケボノ



大岡川下流と遊覧船



行き先 浦賀(横須賀市)

催行日 令和6年4月25日 参加者 18名(男性 11名 女性 7名)

京急浦賀駅を出発する頃は、まだ薄曇りで爽やかな気候でしたが、浦賀ドッグ跡地を横目に見ながら、浦賀コミュニケーションセンター分館に到着する頃には予報通り気温上昇し、一同汗ばみました。2階の「郷土資料館」を見学。浦賀奉行所や浦賀ドッグに関する資料が充実し思いの外見応えがあり。冷房の効いた館内で涼み、気がつけばランチ時間が迫っていました。

急ぎ西浦賀の鎮守「西叶神社」に向かいました。ここで勾玉を求め東叶神社の守袋に入れると良縁に恵まれるとのことですが、なぜか購入者は僅かでした。ここの狛犬は両方口を開けた阿吽の阿です。

予定していた常福寺・浦賀奉行所跡を割愛し、陸軍棧橋付近のデッキでランチタイム。快晴微風で浦賀ベイが一望できる絶好のロケーションの中、話も食もすすみました。「浦賀の渡し船」で対岸の東浦賀に向かい、短時間も心地よいクルージングでした。船着場に近い徳田屋跡を見学、多くの武士や文化人が宿泊した旅館であります。往時の面影はありません。次の目的地は東浦賀の鎮守「東叶神社」です。ここの狛犬は両方口を閉じた阿吽の吽です。元気な数名は神社から200超の階段を登り、浦賀城址から絶景を堪能。東林寺に立ち寄りながら、炎天下の中全員歩いて京急浦賀駅に到着し解散しました。数名は金沢八景で下車し喉を潤してから家路に着きました。



浦賀の海 1



浦賀の海 2



行き先 品川界隈(東京都品川区)

催行日 令和6年5月23日 参加者10名(男性5名 女性5名)

京急新馬場駅集合 品川神社 御殿山庭園 品川プリンスホテル(昼食)



御殿山庭園 1



御殿山庭園 2

行き先 逗子サーファーズ(逗子市)

催行日 令和6年6月27日 参加者 10名(男性7名 女性3名)

逗子駅に集合した頃は予報より青空が広がり、蒸し暑い日となりました。熱中症にならぬよう最短コースで逗子海岸に到着し、砂浜か134号線を歩き、波子不動(高養寺)付近のレストラン「サーファーズ」に一路向かいました。暑さで途中2名が脱落し手前の「まるわ食堂」に入りましたが、8名は11:30にレストランに到着しました。「サーファーズ」は若者向のメニューですが、眺めがよいオープン席に陣取り、喉を潤し空腹を満たしました。海岸に降りて散策しながら、のんびり過ごし逗子駅に戻りました。数名は逗子駅のマクドナルドで反省会を行いました。近年気温が高いので、7月、8月のみならず6月も歩こう会の開催を見合わせる(もしくはランチ会にする)のがよいと思われます。



逗子海岸に行く

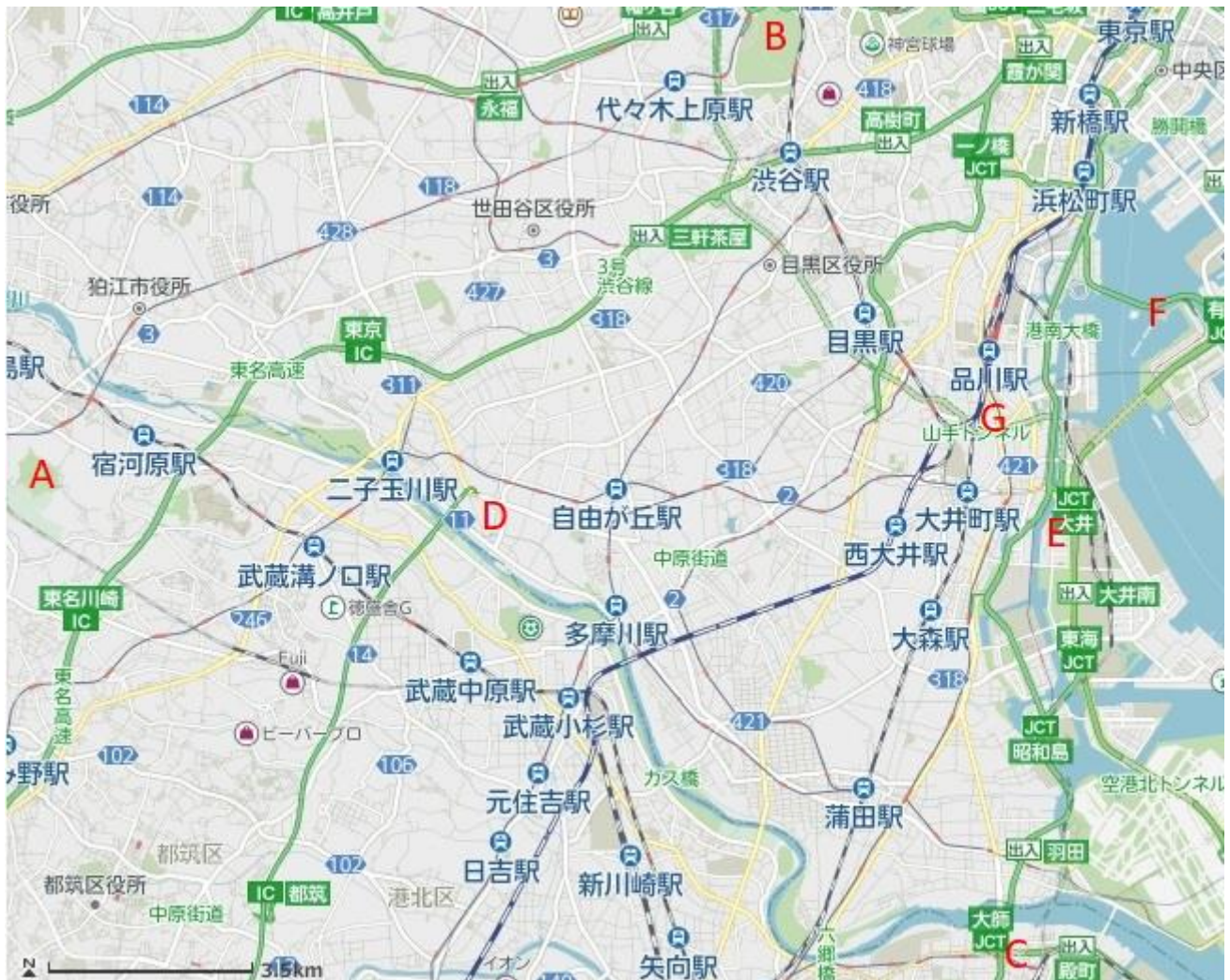


海岸からサーファーズを見上げる



サーファーズにて

行き先地図



東京川崎(東京都区部 川崎市)

A 生田緑地 B 明治神宮 C 川崎大師 D 等々力溪谷 E 大井ふ頭なぎさの森 F お台場公園
G 品川神社



大島

A 三原山展望台



横浜(金沢区戸塚区を除く横浜市 大和市)

A 根岸森林公園 B 赤レンガ倉庫 C 神奈川県立博物館 D 日本郵船歴史博物館
E ブーラシア F 弘明寺 G 英連邦戦没者墓地 H 泉の森 I 白根公園 J 野毛山動物園
K ミツ池公園 L 三溪園 M 久良岐公園 N 大岡川(南太田付近)



鎌倉金沢(鎌倉市 横浜市金沢区・戸塚区)

A 長谷寺 B 金沢動物園 C 富岡八幡宮 D 八景島 E 金井公園 F 舞岡公園 G 称名寺
H フラワーセンター I 能見堂跡 J 河合玉堂別邸 K 源氏山公園 L 富岡総合公園



三浦北(逗子 葉山 横須賀)

A 葉山の里 B 観音崎 C 延命寺 D 神武寺 E 一色海岸 F 佐島 G くりはま花の国

H 池子森林公園 I 浪子地蔵 J 岩殿寺 K 披露山 L 横須賀しょうぶ園 M 若命家長屋門

N 県立大 O 観音寺 P 逗子海岸 Q 柳原公園 R サーファーズ S 森戸神社 T 湘南国際村

U 猿島 V 東叶神社



三浦南(三浦市)

A 小網代の森 B 城ヶ島 C 小松ヶ池公園 D 三戸海岸



湘南(藤沢市 平塚市 大磯町)

A 城山公園 B 平塚八幡宮 C 花菜ガーデン D 江の島 E えびねやまゆり園



西神奈川(小田原市 秦野市)

A 秦野戸川公園 B 曾我梅林



神奈川北((愛川町 相模原市)

A 宮ヶ瀬ダム B 相模川河岸段丘)